

.....

館園名 : 足寄動物化石博物館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1998 年 07 月 01 日

所在地

・ 〒089-3727 北海道足寄町郊南 1 丁目

公式サイト

・ <http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp/>

設立主体

・ 足寄町

運営主体

・ 足寄町教育委員会

設立目的

・ 足寄動物化石群の保管・収集・研究・展示・活用。

展示概要

- ・ アシヨロア(最古の束柱類)、ベヘモトプス(原始束柱類)、デスモスチルス気屯標本 3 復元など束柱類骨格 8 体。
- ・ 歯のあるヒゲクジラ(化石)骨格、現生クジラ骨格 6 体ほか、海生哺乳類化石をテーマにした化石・現生資料。

活動概要

- ・ 足寄動物化石群(後期漸新世海生哺乳類)の継続的な収集・研究。
- ・ あしよろ化石教室の開催。
- ・ 化石研究の一連の過程の公開、解説。

延床面積

・ 2,000 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 5 名 (2004 年 12 月現在)

年間運営費

・ 23,500,000 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 約 1,500 点 (2004 年 12 月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：化石収集調査ボランティア、 博物館友の会「デスモ クラブ」

活動目的・経緯

- ・ 化石収集調査ボランティアは、1976 年、北海道大学院生による化石発見・発掘がおこなわれ、その作業を見た地元住民(2名)が化石調査を開始。1980年に第2の化石を発見、以降継続的に町内茂螺湾から化石を発見し、現在20数体にのぼる。発見した化石は町に寄贈し、自ら処理作業を年に博物館が設立されてからも、職員とともに野外の調査・室内作業を進めている。
- ・ 博物館友の会「デスモ クラブ」は、1998年、当館の開館にあわせて発足。博物館を楽しみ、館の活動を支えることを目的とした。学芸員の個人的つながりがベース。なお、化石収集ボランティアは非会員。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 105 名 (2004年12月現在)
- ・ 男性： 59 名、女性： 46 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：学芸員、技術職員
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 化石収集調査は、①化石発見のための野外調査、②母岩から化石を取り出す室内作業、③化石教室開催のための現地調査、④化石教室開催時の職員補助。
- ・ デスモクラブは、博物館行事（野外化石採集会）のサポート（出欠・保険料徴収・現場での指導）、資料購入の補助（年10万円程度）。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 化石収集調査ボランティアは、当館の基礎となった化石資料の収集者です。いわゆるコレクターではなく、最初の化石が自らの畑の脇から見つかったにもかかわらず、北大に收藏されたことから発憤し、当初から「町のために」を意識して調査を開始した。町は初めは少額の謝礼を準備したが、のちに完全に無償とした。
- ・ デスモクラブは、当初町民の有志として発足したが、現在は、町外者が7割を占める。館の活動サポートは役員が中心となる。

関連する出版物

- ・ 『マンガで解説する足寄の化石』

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：化石収集 ①

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1976 年

◇活動人数

- ・ 1 名（2004 年 12 月現在） 男性 71 歳

◇活動内容

- ・ 町内化石産地の巡回。発見化石の発掘・回収。

◇活動日

- ・ 随時

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 年数回は職員同行。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 講演会への参加 講師は職員(学芸員)か客員研究員。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：博物館友の会「デスマクラブ」 ②

(設立目的に館の活動をサポートすることを掲げている)

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 104 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 58 名、女性： 46 名

◇活動内容

- ・ 博物館行事のサポート(役員が主体、出欠・保険料徴収・現場での指導)。
- ・ 館行事への参加(一般募集の参加者が会員になるケースが多い)。
- ・ 館の資料購入への補助(年 10 万円前後を会費から支出)。

◇活動日

- ・ 館の行事(野外での化石採集会)にあわせて、2004 年度は 3 回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 役員 7 名(年 10 回ほどの役員会)。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 総会を年 1 回。
- ・ 会報を年 2 回発行。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 館内の掲示や行事の際の案内。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 館の客員研究員を講師として年 1 回の定例学習会。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 会員数の増加を図ること、とくに町民。
- ・ 運営の自立化(現在は職員に頼る傾向がある)。

◇その他

.....

館園名 : えりも町郷土資料館・水産の館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ えりも町郷土資料館 1992年04月
- ・ 水産の館 1981年07月

所在地

- ・ 〒058-0342 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地

公式サイト

- ・ <http://www2.com.me.jp/~horoizum/>

設立主体

- ・ えりも町

運営主体

- ・ えりも町教育委員会

設立目的

- ・ えりも町の自然歴史文化に関する調査研究と普及活動。

展示概要

- ・ えりも町の自然、歴史、文化、郷土芸能。
図書館コーナー、水産業の紹介、コンブの展示。

活動概要

- ・ 地域学習資源調査。
- ・ 猿留山中復元事業。

延床面積

- ・ 87,100 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 2名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 980,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 約26万点（2004年12月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：えりも町郷土資料館N42°の会

活動目的・経緯

- ・ 資料館活動、事業への参加、事業支援。
- ・ 独自活動による地域の活性化。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 31名（2004年12月現在）
- ・ 男性：14名、女性：17名
- ・ 平均年齢 約50歳：男性 約50歳、女性 約50歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：文化財係
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 子供を対象にした自然体験事業。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：①自然体験事業

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 31名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ わらしゃんど・えりもまるごと自然体験。

◇活動日

- ・ 月1回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 参加できる人。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ニュースの発行。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ とくになし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 資料館主体の講演会などに参加。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 高齢化問題あり。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 小樽交通記念館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1996年04月20日

所在地

・〒047-0041 北海道小樽市手宮1丁目3番6号

公式サイト

・<http://www.otarukoutsukinenkan.com>

設立主体

・小樽市

運営主体

・株式会社 小樽交通記念館（第3セクター）

設立目的

・小樽市は北海道鉄道の発祥の地であり、また港湾都市として街が発展しました。よって海運、陸運、北海道の交通を語るにふさわしい社会教育・文化・観光施設として建設されました。

展示概要

- ・中央展示館では開拓期から現在までの北海道の鉄道の歴史を解説。また北前船を中心とした海上交通や自動車などの陸上交通の展示。
- ・重要文化財指定「旧手宮鉄道施設」の機関車庫などの遺構群や動態保存の蒸気機関車を含め51車両の保存展示。
- ・蒸気機関車資料館では日本最多の機関車の部品、工具、ゲージ類を展示。

活動概要

- ・交通に関連した企画展の開催
- ・親子向けイベントの開催

延床面積

・4,143.3 m²

全職員数（常勤職員）

・5名（2005年1月現在）

年間運営費

・ 円（2003年度）

総資料点数

・14,454点（2005年1月現在）

施設その他

・館の場所が海に近いので屋外の展示車両の傷みが早く、その修復に追いつかない状況である。またそれについての意見も多くある。

2. ボランティア活動 名称：小樽おそうじ会

活動目的・経緯

・館には50両の鉄道車両が保存展示され、半数が屋外に展示されているので補修がその劣化に追いつかない状態のため、有志が集まりボランティアとして保存・修復を行なっている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 13名（2005年1月現在）
- ・ 男性：12名、女性：1名
- ・ 平均年齢40.7歳：男性42.4歳、女性21歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：展示・施設
- ・ 担当人数：常勤職員2名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①資料保存・修復
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ ボランティア活動のため会費は発生しないが、入会活動する場合ボランティア保険の加入をお願いしている。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://members.at.infoseek.co.jp/osoujikai/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①資料保存・修復

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 13 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 鉄道車両の修復（サビ落とし、塗装等）や清掃

◇活動日

- ・ 月 2～3 日（日曜日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 事務局にまかせている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 会の活動は、会のホームページで紹介している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 事務局を通じて登録。館側では募集を行っていない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ なし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 作業が専門的なため小中学生の参加が難しい。
- ・ 活動日も少ないため本格的な修復作業も行なえない。

◇その他

- ・ 活動に対する批判の声がインターネットで言われたりして、補修の現状や活動状況について理解が低いようである。

.....

館園名 : 帯広市児童会館 青少年科学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1964年09月27日

所在地

- ・ 〒080-0846 北海道帯広市緑ヶ丘2

公式サイト

- ・ <http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/jidoukaikan/>

設立主体

- ・ 帯広市

運営主体

- ・ 帯広市

設立目的

- ・ 青少年に科学する心と物事を科学的に判断する力を養い、健康で豊かな人間性を培うことを目的として設置された、児童文化センターと青少年科学館の機能を併せ持った複合施設。
- ・ 青少年科学館は、十勝における青少年の科学文化教養センターとしての役割を果たせるよう計画された。

展示概要

- ・ 科学展示室、プラネタリウム、自然植生が観察できる野草園（1958年開園）から成る。
- ・ 操作して科学の原理や応用の仕組みなどを理解できるように展示品を25台公開している。
- ・ 貝、岩石、化石などの標本が収蔵され、その一部は1～2階廊下に展示している。

活動概要

- ・ 宿泊学習が行われる（小5・中2の児童生徒、1泊2日）。
- ・ 科学実験実習などを中心とした「日帰り学習」、自然観察会・親子実験教室などの科学行事を実施するほか、土曜日、日曜日には、小中学生を対象とした科学クラブ、文化クラブ（図画工作、演劇、将棋など）、発明工作クラブなどを開設。

延床面積

- ・ 3,698 m²

全職員数

- ・ 23人（職員9人、嘱託職員11人、臨時職員3人）

年間運営費

- ・ 135,922千円（2003年度）

総資料点数

- ・

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：帯広市野草園運営委員会

活動目的・経緯

- ・ 野草を愛する市民で組織する団体で、自然あふれる野草園の保存のため、1958年に結成し、運営に協力。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 16名（2005年）
- ・ 男性：8名、女性：8名（2005年）
- ・ 平均年齢68歳：男性70歳、女性65歳（2005年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：管理係 担当人数：常勤1名・その他（非常勤）3名

活動の種類

- ・ ①野草園の運営協力。

活動その他

関連する出版物

- ・ 帯広市野草園運営委員会たより「くろ百合」（年3回発行）

関連するHP

- ・ <http://www.city.obihiro.Hokkaido.jp/jidoukaikan/yaso/yasoen.htm>

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①野草園の運営協力

◇活動開始年

- ・ 1958 年

◇活動人数

- ・ 16 名 (2005 年 4 月現在)

◇活動内容

- ・ 野草園の開園準備、植生調査、野草園の花の写真、絵手紙等の展示会の開催、閉園作業。

◇活動日

- ・ 4 月中旬から 10 月末日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 運営協力謝礼として、年間 200,000 円を予算計上。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 児童会館が管理運営。
- ・ 専門的な知識が必要なため、館長は知識豊かな者を委員として依頼している。委員として選任された者から委員長を選出し、会をまとめている。
- ・ 年 2 回、委員会会議を開催し、園の運営方法を協議する。
- ・ 各作業、行事に、自主参加。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 野草園運営委員会を組織。
- ・ 野草園運営委員会たよりを、年 3 回発行。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 特にしていない。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 会で、関係する施設や、地域を選定し、視察を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 資料作成に要する時間と労力が負担となっている。
- ・ メンバーが高齢化してきている。若年層の参加は難しい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 帯広百年記念館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1982 年 10 月 24 日

所在地

・〒 080 - 0846 北海道立帯広市緑ヶ丘 2

公式サイト

・<http://>

設立主体

・帯広市

運営主体

・帯広市

設立目的

・帯広の開拓 100 年を記念して設立された。博物館機能と創造活動機能を持ち合わせた複合施設。

展示概要

・常設展示室では、帯広・十勝の歴史・自然・産業に関する資料を収蔵、展示。第一展示室では、「開拓の夜明けと発展」「十勝のしぜん」「十勝のくらし」「十勝・農業王国の確立」のテーマで展示。第二展示室では、「十勝の生い立ちと先住の人々」というテーマで展示。

活動概要

・上記常設展示のほか、特別展示。創造活動センターでは、陶芸、音楽、演劇、絵画、木彫、舞踊などの練習会場として一般貸出を行う。
・博物館講座、自然観察会、見学会、講演会などの開催。

延床面積

・ 4299 m²

全職員数（常勤職員）

・ 9 名（ 2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 144,026,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 約 54 万 点（ 2004 年 12 月現在）

施設その他

・ 緑ヶ丘公園内。

2. ボランティア活動 名称：帯広百年記念館ボランティアの会

活動目的・経緯

・「開かれた博物館」をめざし、市民参加型の活動を展開するため、平成元年にボランティア養成講座を開講した。この講座の終了生が、ボランティアの会を平成 2 年に組織した。なお、養成講座は、平成 2 年、平成 10 年、平成 15 年の計四回開講。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 15 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 3 名、女性： 12 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 管理係
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説作業。
- ・ ふるさとの語り部聞き取り作業・テープの永久保存作業。
- ・ 郷土学習会（十勝歴史探訪の企画、運営）。
- ・ 「昼休み・音の博物館」レコードコンサートの開催。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 学習の場として、講演会を開催。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：展示解説作業

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 15 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・ 記念館ボランティアの基本的活動。おもに、管内小学校三・四年生の団体見学に対応。

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート② 活動名：ふるさとの語り部聞き取り作業・テープの永久保存作業。

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 15 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・ 郷土史研究の一環として行っている、「ふるさと語り部」の聞き取りをおこなう。また、録音テープの音質劣化に対応するため、MD におとす作業を行う。

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート③ 活動名：郷土学習会（十勝歴史探訪の企画、運営）

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 15 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・ 帯広・十勝の歴史を勉強し、その結果を市民へ還元するため、郷土学習見学会を企画・運営。

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート④ 活動名：「昼休み・音の博物館」レコードコンサートの開催。

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 15 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・帯広百年記念館で所蔵している SP レコードによるレコードコンサートを毎月第三土曜日におこなう。

◇活動日

・ 毎月第三土曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 木田金次郎美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1994年11月03日

所在地

- ・ 〒045-0003 北海道岩内郡岩内町万代 51-3

公式サイト

- ・ <http://www.lilac.co.jp/kida-museum/>

設立主体

- ・ 岩内町

運営主体

- ・ 岩内美術振興協会

設立目的

- ・ 北海道洋画壇を代表する作家の一人で、生涯を岩内で過ごした木田金次郎（1893年～1962年）の作品が未亡人より寄贈され、その作品を収蔵・展示するために、町と有志の協力により設立された。

展示概要

- ・ 木田金次郎の作品約180点、および写真・書簡を収蔵し、木田の代表的作品などを順次展示している。
- ・ ミュージアムシアターでは、木田の作品・生涯を解説。

活動概要

- ・ 木田金次郎に関するテーマ、および地域に根ざしたテーマの展覧会を開催。
- ・ 「ふるさとこども美術館」、ワークショップの実施。
- ・ 木田金次郎の作品・作家研究。

延床面積

- ・ 1,282.3 m²

全職員数

- ・ 6名

年間運営費

- ・ 45,334千円（2003年度）（うち、岩内美術振興協会への管理運営委託料42,891千円）

総資料点数

- ・ 油彩128点、素描71点、資料等約100点。

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：ポプラの会

活動目的・経緯

- ・ 1997年4月、館が行う事業活動に協力するとともに、美術に関する知識と教養の向上を図り、会員相互の親睦を深めることを目的として発足。
- ・ 現在6部に分かれて活動（1部は全員参加）。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 19名（2003年）
- ・ 男性：3名、女性：16名（2003年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤3名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①サービス部、②資料部、③群暉部、④研修部、⑤作品部、⑥IT部。

活動その他

- ・ 町防災無線、広報紙等で呼びかけるほか、PRビデオを活用して随時募集。
- ・ 作品研修を行う。
- ・ 予算として539千円（2004年）
- ・ スタッフルームあり（図書室、職員休憩室と同スペース）。
- ・ 各自の都合に合わせて、週1回程度参加。
- ・ 全体会議を、第1水曜日に実施。
- ・ 連絡ノート、連絡網あり。
- ・ 防災無線、広報などで、随時募集。
- ・ 定員、任期なし。
- ・ 全体会議終了後、学芸員による「ミニ講座」を実施。
- ・ 展示替えごとに、展示概要を学芸員が解説。
- ・ 年3回ほど、日帰り研修を実施。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 都合による退会者に、館より記念品を贈呈。
- ・ 10年以上活動した方には、特別優待券を贈呈。
- ・ 新規会員（札幌からの参加者あり）は増えているが、より十分な活動を行うには、さらに会員が増えることが望まれる。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www13.plaza.or.jp/donzamaru/>（美術館情報「どんざ丸」）

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 北海道美術館ボランティア交流会へ参加。

活動個別シート ①サービス部（看視等のサービス）

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 19 名（2004 年）

◇活動内容

- ・ 展示室内の監視。
- ・ とくに多客期（GW、お盆等）には、重点看視期間を設定。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動（休館日を除く）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算 975 千円（2003 年）←制服代含む、539 千円（2004 年）
- ・ スタッフルーム有（図書館、職員休憩室と同スペース）

◇運営（シフト 等）

- ・ 各自週 1 回程度、強制はない。それぞれが活動できるペースに合わせて行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 全体会議を毎月（第 1 水曜日）実施。その他連絡ノート・連絡網あり。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時（防災無線・広報など）
- ・ 定員・任期はない。
- ・ 札幌市など、遠方からの参加者もある。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 全体会議終了後、学芸員による「ミニ講座」を実施。
- ・ 展示替え毎に展示概要を学芸員が解説。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険加入（費用館負担）

◇評価

- ・ 都合による退会者に館より記念品贈呈
- ・ 10 年以上活動して退会した方には「特別優待券」を贈呈

◇課題と展望

- ・ 会員の確保が以前から課題であるが、札幌からの参加者や新加入する方は近年出ている。但し、より十分な活動を行うには、更に会員が増えることが望まれる。

◇その他

- ・

活動個別シート ②資料部（資料整理）

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 3 名（2004 年） ※19 名のうち

◇活動内容

- ・ 図書（図録等を含む）の受け入れ、整理。
- ・ 新聞記事の切り抜き、整理。

◇活動日

- ・ 随時活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算 975 千円（2003 年）←制服代含む、539 千円（2004 年）
- ・ スタッフルーム有（図書館、職員休憩室と同スペース）

◇運営（シフト 等）

- ・ 各自週 1 回程度、強制はない。それぞれが活動できるペースに合わせて行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 全体会議を毎月（第 1 水曜日）実施。その他連絡ノート・連絡網あり。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時（防災無線・広報など）
- ・ 店員・任期はない。
- ・ 札幌市など、遠方からの参加者もある。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 全体会議終了後、学芸員による「ミニ講座」を実施。
- ・ 展示替え毎に展示概要を学芸員が解説。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険加入（費用館負担）

◇評価

- ・ 都合による退会者に館より記念品贈呈
- ・ 10 年以上活動して退会した方には「特別優待券」を贈呈

◇課題と展望

- ・ 会員の確保が以前から課題であるが、札幌からの参加者や新加入する方は近年出ている。但し、より十分な活動を行うには、更に会員が増えることが望まれる。

◇その他

- ・

活動個別シート ③群暉部（会報の編集）

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 4名（2004年） ※19名のうち

◇活動内容

- ・ 美術館会報「群暉（くき）」の編集（美術館振興協会「群暉部」と共同で行う）。

◇活動日

- ・ 年4回（3～4月、6～7月、9～10月、1～2月）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ④研修部（研修の実施）

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 3 名（2004 年） ※19 名のうち

◇活動内容

- ・ ボランティア研修の企画・実施。
- ・ 北海道美術館ボランティア交流会（隔年開催）への参加・交流・企画。
- ・ 月 1 回の全体会議の際に、学芸員による「ミニ講座」を実施。

◇活動日

- ・ 年 3 回程度（日帰研修）、隔年で一泊研修（北海道美術館ボランティア交流会参加）

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤作品部（作品データの整理）

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 1 名（2004 年） ※19 名のうち

◇活動内容

- ・ 収蔵・展示作品データの整理・記録。

◇活動日

- ・ 随時活動（休館日を除く）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑥ I T部 (I T事業の実施)

◇活動開始年

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 3名(2004年) ※19名のうち

◇活動内容

- ・ 作品部が整理した資料をデータ化。
- ・ 美術館情報HP(「どんざ丸」)の作成・編集・運営(月1回更新)。
- ・ HPの内容を記載した新聞(「どんざ丸」)の作成・編集・発行(月1回発行)。

◇活動日

- ・ 月1回、IT発信会議を開催

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営(シフト 等)

- ・

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 月1回、IT会議を開催。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ どんざ丸HP <http://www13.plala.or.jp/donzamaru/>

.....

館園名 : 黒松内町ブナセンター

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1993年06月03日

所在地

・ 〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内 512-1

公式サイト

・ <http://www.host.or.jp/user.bunacent/>

設立主体

・ 黒松内町

運営主体

・ 黒松内町

設立目的

・ 都市と田舎の交流施設、自然・文化・歴史の情報収集・発信。

展示概要

・ ブナ・化石・ブナ林の旬の情報、活動報告。
工房。

活動概要

・

延床面積

・ 872.55 m²

全職員数（常勤職員）

・ 6名（16年12月現在）

年間運営費

・ 24,732,000円（2003年度）

総資料点数

・ 214点（15年3月現在）

施設その他

・ ブナホール（資料展示ホール）、体験実習室（木工房、陶工房、食工房）
図書室、会議研修室、検査室、サンルーム、事務室。

2. ボランティア活動 名称：森へ行こう

活動目的・経緯

- ・“わが町の自然再発見”をテーマに、町内のブナ林を中心とした自然を「観察し」「調べ」「記録する」ことを楽しむ活動。
都市住民と地域住民の交流を目的としたブナ林観察会でのガイド役も担う。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 23名（2004年4月現在）
- ・ 男性：9名、女性：14名
- ・ 平均年齢50歳：男性48歳、女性55歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：特になし
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（嘱託員）1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 花ごよみ調査（ブナ林散策路沿い植物の開花時期の調査）。
- ・ ブナの実調査（ブナの種子落下数調査）。
- ・ ブナ・ウォッチング・ボランティアガイド。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ 黒松内町自然解説リーフレット「歌オブナ林 花ごよみ」

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①花ごよみ調査

◇活動開始年（西暦）

- ・1997年

◇活動人数

- ・5名（2004年4月現在）

◇活動内容

- ・町内にあるブナ林の散策路沿いに定めた10ヶ所のポイントで咲いている花の状況をチェックする。

◇活動日

- ・個々人の都合に合わせて月1～4回（4月～10月）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・記録用のチェックシート、データ整理用の用紙等。

◇運営（シフト 等）

- ・なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・町民向けの回覧・チラシ。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・必要に応じて、講師を呼ぶ。研修を行うなど。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・年間のレクリエーション保険。（保険料自己負担。とりまとめブナセンター）

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・活動できる人が限られてくることと、新しいメンバーがなかなか定着しないこと。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②ブナの実調査

◇活動開始年（西暦）

- ・1997年（調査は1994年開始）

◇活動人数

- ・4名（2004年11月現在）

◇活動内容

- ・ブナセンターが毎年秋に行っているブナの種子落下数調査のお手伝いをお願いしている。週に一度、ブナ林内に設置したシードトラップの中身を回収し、種子を分類、数を数えるというものの。

◇活動日

- ・9月～11月上旬の週一回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・特になし。

◇運営（シフト 等）

- ・なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・町民向けの回覧、森へ行こうメンバーへの直接の呼びかけ。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・特になし。（初めての方には、調査の目的、概要などを記した資料配布、調査結果の公表。）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・年間レクリエーション保険。（花ごよみに同じ）

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ブナの実調査のお手伝いを公募したところ、色々な方からやってみたいとの反応はあるが、調査として行うのか、観察会的に行うのか中途半端な状態となりかねないので、再考の余地あり。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③ブナ・ウォッチング ボランティアガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・1995年

◇活動人数

- ・10名（2004年6月現在）

◇活動内容

- ・都市との交流を目的としたブナ林観察会（実行委員会形式）で、ブナ林のガイド役を務める。

◇活動日

- ・毎年6月の中旬。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ブナ・ウォッチング実行委員会に組織されている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・町民向け回覧。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・事前の下見、勉強会など。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ガイドできる人の減少。ガイドする人が負担にならず、楽しめる案内方法を模索中。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 札幌芸術の森野外美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1986年07月07日

所在地

・ 〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森 2-75

公式サイト

・ <http://www.artpark.or.jp>

設立主体

・ 札幌市

運営主体

・ 財団法人 札幌市芸術文化財団（札幌芸術の森事業部）

設立目的

・ 21世紀に向けて、北方の新しい芸術・文化の創造を目指し、総合芸術文化施設として建設。

展示概要

・ 野外美術館：D.カラヴァン、G.ヴィークランら、内外を代表する65作家の彫刻作品74点を常設している。作品の多くは、作家が設置空間を実際に訪れて制作したものである。広さ7.5ヘクタールの広さの自然環境を生かした林の中に彫刻が点在している。

活動概要

・

延床面積

・ m²

全職員数（常勤職員）

・ 9名（ 年 月現在）

年間運営費

・ 円（2003年度）

総資料点数

・ 点（ 年 月現在）

施設その他

・ 彫刻に関するクイズがいっぱい盛り込まれた「彫刻クイズ・ノート」が用意されている。
・ 1月中旬から3月中旬までの冬期間、無料で特別開放される。期間中は、カンジキを履いて、雪の中の野外彫刻を鑑賞することができる。

2. ボランティア活動 名称：札幌芸術の森野外美術館作品解説ボランティア

活動目的・経緯

- ・1994年6月、活動開始。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・34名（2004年 月現在）
- ・男性：7名、女性：27名
- ・平均年齢57.0歳：男性69.9歳、女性53.7歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・部局名称：管理課業務係
- ・担当人数：常勤職員1名・その他（学芸員）1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・①解説案内。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・情報紙「風響樹（アスペン）」（隔月発行）

関連するHP

- ・<http://www.welcome.city.sapporo.jp/>
（ボランティア解説動画）

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①解説案内

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1994 年

◇活動人数

- ・ 34 名（2004 年 月現在）

◇活動内容

- ・ 野外美術館に常設展示されている 65 作家・74 点の彫刻作品について解説案内をする。毎日午後 1 時から定時解説を行う。事前に申し込みのあった団体に対しては、希望の時間に解説を行う。午前は定期観光バスを対象とした解説と一般解説を行う。

◇活動日

- ・ 4 月 29 日から 11 月 3 日までの開館日に活動（11 月 4 日から 4 月 28 日までは、積雪期のため休館）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 研修用図書費、名刺、ジャンパー、ボランティア証、駐車証、図録、ボランティア室、印刷機他

◇運営（シフト 等）

- ・ 館により運営。
- ・ 平日は午前 2 人、午後 1 人。土日祝日は午前午後とも 2 人の体制。
- ・ 予約団体により、人数を増員。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 情報紙「風響樹（アスペン）」を隔月発行している。
- ・ 月一度の班長会議及び班会議。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集対象は、札幌市内に在住し、1 時間以内に来館可能な者。
- ・ 定年制はない。
- ・ 登録期間を 2 年とし、希望者は再登録する。
- ・ 登録人数により、2～4 年に 1 度募集を行い、補充している。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎月 1 回、研修会を開催している。館側のプログラムと、自主研修発表を行っている。
- ・ シーズンはじめには、特別研修を行っている。シーズンオフは、自主的なフリー研修開催。
- ・ 年 2 回、館外の見学研修を自主的に実施している。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 一般傷害保険に加入している。
- ・ 交通費支給。

◇評価

- ・ 各ボランティアの向上心が旺盛である。自主的に見学旅行を実施し、資質の向上を図り、親睦を深め、絆を強めていることが、日常の活動にも大きく貢献している。

◇課題と展望

- ・ 現在の意欲・資質を維持向上。
- ・ 屋内美術館（延床面積 2,591,416 m²）収蔵作品についての解説も検討。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 札幌市青少年科学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1986年10月01日

所在地

・〒004-0051 北海道札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20

公式サイト

・<http://www.ssc.slp.or.jp/>

設立主体

・札幌市

運営主体

・財団法人 札幌市生涯学習振興財団

設立目的

・科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を通して、創造性豊かな青少年を育成するために設置。

展示概要

・展示物を「見て」、「触れて」、現象を「考えてみる」ことができるよう〈宇宙〉〈北方圏〉〈原理・応用〉〈マルチメディア〉のテーマを主とした参加体験型展示を多数用意し、青少年はもとより、広く市民が気軽に利用しながら科学技術について正しい理解ができるように配慮している。
・また、知的・創造的な遊びの場として興味を誘うように、各展示物は島状に配した探索型で、見学者が自由に好きな展示物に触れ合えるように展示している。

活動概要

・「教育普及活動」常設展示、実演展示、特別展示、教室・講座、学校教育連携、天文普及（プラネタリウム・天体観望）・人材育成（天文指導員）。
・「連携活動」学校・研究機関・他類似施設・企業との連携・連絡。
・「PR活動」広報物の作成・配布、報道機関へ情報発信、ホームページ、見学手引書・事業概要の発行。
・「資料収集」文献・図書・映像などの収集・整理、天体写真の撮影・整理保存。

延床面積

・10,017 m²

全職員数（常勤職員）

・39名（2005年1月現在）

年間運営費

・527,734,000円（2003年度）

総資料点数

・約300点（2005年1月現在）

施設その他

・プラネタリウムに全天周動画装置を加え、今春にリニューアルオープン（2004年10月より工事中）。

2. ボランティア活動 名称：特定名称なし

活動目的・経緯

・展示係サイエンスボランティア

地元の科学指導者から、科学館にてボランティア活動を行いたい旨申し出があり、「本格的な生涯学習時代を迎え、ますます少子化・高齢化が進む中、科学館や美術館などの博物館施設がボランティア活動の場を提供することは、生涯学習支援の観点から極めて重要である」との観点から、受け入れる形で採用を始めた。

しかし、当館の展示事業におけるボランティア活動の制度化は緒についていない状況であるため、その後のボランティア活動に検討を加えていくための試行的な扱いとなっている。

・天文指導員

一度に多くの市民が参加する天文普及事業の実施にあたっては、事業協力者の存在が不可欠であるため、ボランティアの育成を行うこととなった。

また、科学館の天文普及事業に参加しながら経験や知識を積み重ねていく天文指導員は、それぞれが生活する地域に密着した天文普及活動の担い手となり、科学館のみならず、地域社会にとっても有益な存在と位置づけている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 48名（2005年1月現在）
- ・ 男性：23名（展示4名、天文19名）、女性：25名
- ・ 平均年齢33.5歳：男性45.8歳（展示69.0歳、天文22.7歳）、女性21.2歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：学芸課展示係、学芸課天文係
- ・ 担当人数：常勤職員2名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・「展示係サイエンスボランティア」工作指導・実験の演示など。
- ・「天文指導員」天体解説・望遠鏡操作・科学館天文事業補助。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・なし。

関連する出版物

- ・なし。

関連するHP

- ・ <http://www.ssc.slp.or.jp/planet/planet.htm>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし

活動個別シート 活動名：①展示係サイエンスボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・1999年

◇活動人数

- ・4名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・展示会場でのふれあい実験・工作・サイエンス。

◇活動日

- ・基本的に第二・第四土曜日にふれあい実験等を実施。それ以外は必要に応じてランダムに実施。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・予算：必要に応じて展示事業費から支出。
- ・ボランティア室：専用の部屋はなく、工作室及び資料室を利用。

◇運営（シフト 等）

- ・「活動日」参照。

◇交流（情報、組織 等）

- ・連絡会などはないが、必要に応じて打ち合わせの場を持っている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・公募は行っていない。
- ・選考対象：科学館に在職していた嘱託委員や科学に精通した者。
- ・人数：限定なし・
- ・定年、任期：なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・なし

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費、食費：無支給。
- ・ボランティア活動保険加入。

◇評価

- ・特になし。

◇課題と展望

- ・交通費などの支給を検討中。
- ・ボランティアの増員を検討中。

◇その他

- ・なし。

活動個別シート 活動名：②天文指導員

◇活動開始年（西暦）

- ・1984年

◇活動人数

- ・44名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・移動天文台や観望会などにおいて、星空解説や天文望遠鏡操作を行う。

◇活動日

- ・不定期（科学館の天文事業が実施される日）

<http://www.ssc.slp.or.jp/planet/planet.htm>（天文指導員のページ）参照。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・天文関連機器の貸し出し。
- ・関連資料の提供。

◇運営（シフト 等）

- ・本人が希望する日に協力してもらう。

◇交流（情報、組織 等）

- ・定例の研修会あり。上記「活動日」項ホームページ参照。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・札幌市の広報誌・ホームページ・大学掲示板、対象は学生。
- ・3月末～4月中旬頃に募集、4月末に面接を行い登録可否を決定する。
- ・20名程度。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・種類：月1回の定例研修と5日間の集中研修。上記「活動日」項ホームページ参照。
- ・内容：天文知識の習得、望遠鏡操作練習など。
- ・講師：科学館職員、先輩ボランティア。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費支給。
- ・事業協力の場合は1回につき3,400円支給（研修は無支給）。
- ・ボランティア活動保険加入。
- ・科学館観覧料免除。

◇評価

- ・活動の様子を評価する。

◇課題と展望

- ・天文知識の不足が見受けられる。

◇その他

- ・参考ホームページ。<http://www.ssc.slp.or.jp/planet/planet.htm>（天文指導員のページ）

館園名 : 札幌市豊平川さけ科学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1984年10月06日

所在地

- ・ 〒005-0017 北海道札幌市南区真駒内公園 2-1

公式サイト

- ・ <http://www.sapporo-park.or.jp/sake/>

設立主体

- ・ 札幌市

運営主体

- ・ 財団法人札幌市公園緑化協会

設立目的

- ・ 札幌市内を流れる豊平川の浄化によって、1981年サケが遡上するようになったのをうけて、サケについての学習の場を市民に提供するため開館。

展示概要

- ・ サケの生態や、サケの仲間の他、豊平川の生物や河川環境について展示している（飼育展示生物 : サケ科魚類 22種類、豊平川の生物約 40種類、その他の生物約 10種類）。
- ・ サケ科魚類稚魚・未成魚を、種類別に水槽展示・飼育展示するほか、模型・標本・ビデオ・写真パネル等でサケの生態を解説。
- ・ サケ科魚類の採卵作業を公開。

活動概要

- ・ 解説案内、資料を発行。
- ・ サケの回帰事業、野外調査を実施。
- ・ シロザケの体験放流、サーモンウォッチング、さかなウォッチング採卵実習など、市民対象の実習を実施する。

延床面積

- ・ 910.2 m²

全職員数

- ・ 職員 5名、臨時職員 2名

年間運営費

- ・ 5156万円（平成 15年度）

総資料点数

- ・ 展示点数 約 900点

その他

- ・ 図書の貸出・閲読コーナーがある。関連図書、約 1500点。

2. ボランティア活動 名称：さけ科学館ボランティアの会

活動目的・経緯

- ・ 1986年11月、解説ボランティアとして市民2人が登録。シロザケの産卵行動の解説、さかな館での実習の手伝いなどを行う。
- ・ 1993年、さけ科学館ボランティアの会規約が制定される。
- ・ 1996年、札幌市南区ボランティア連絡協議会に入会。
- ・ さけ科学館および科学館職員と、来館者との橋渡しをし、さけ科学館の教育普及活動を促進させることを目的とする。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 30名（2004年）
- ・ 男性：27名、女性3名（2004年）
- ・ 平均年齢 36歳：男性36歳、女性34歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤4名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示生物の管理、②解説活動、③館主催行事の補助、④敷地内の整備、⑤資料整理、⑥記録・報告の作成、⑦情報提供。

活動その他

- ・ 各ボランティアの都合のよい日、および館主催行事の日に活動。
- ・ 博物館により運営。
- ・ 打合せ会（月例会）を実施。
- ・ ボランティア通信を発行。
- ・ ボランティアHP“ikura”を運営。
- ・ メーリングリストを運営。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 随時募集。館内に掲示を行う。その他、ボランティアの紹介による。
- ・ HPから募集要項をダウンロードできる。
- ・ 「さけ科学館ボランティア活動の手引き」がある。
- ・ 館、およびボランティア相互で研修を実施する。
- ・ ボランティア保険への加入を条件とする。
- ・ 活動人数、延べ339名（2003年）
- ・ 活動時間、延べ1228時間（2003年）

関連する出版物

- ・ 情報紙を発行（月1回）。
- ・ 研修会報告書を発行。

関連するHP

- ・ <http://salmon-volunteer.hp.infoseek.co.jp/>

館外組織（NPO等）との連携

- ・

.....

館園名 : 財団法人札幌彫刻美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1981年06月29日

所在地

- ・ 〒064-0954 北海道札幌市中央区宮の森4条12丁目

公式サイト

- ・ <http://www.sapporo-mos.org/>

設立主体

- ・ 北海道・札幌市

運営主体

- ・ 財団法人札幌彫刻美術館

設立目的

- ・ 本郷新の作品展示と、彫刻を中心とした美術文化振興を目的とする。

展示概要

- ・ 本郷新の作品等を常設展示。
- ・ 彫刻を中心とした展覧会の開催。

活動概要

- ・ 常設展と特別展の開催。
- ・ 彫刻及び美術文化全般の普及啓発をはかるための各種講演会、講座等の開催。

延床面積

- ・ 811.17 m²（本郷・記念館の合計）

全職員数（常勤職員）

- ・ 3名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 約39,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 2,453点（2003年09月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：なし

活動目的・経緯

- ・ 学芸員の補助等。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 2名（2005年01月現在）
- ・ 男性： 名、女性：2名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 約60歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：学芸員
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 寄贈図書のカテゴリ・整理。
- ・ 彫刻関係の資料等のカテゴリ・整理。
- ・ 郵便物の送付の補助。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ ボランティアの都合の良い日に月数回美術館に来て活動している。
組織だった活動にはなっていない。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

館園名 : 史跡北黄金貝塚情報センター

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・2001年06月02日

所在地

・〒059-0272 北海道伊達市北黄金町7-5

公式サイト

・<http://www.city.date.hokkaido.jp/>

設立主体

・伊達市

運営主体

・伊達市教育委員会

設立目的

・6千年前の台地上の貝塚と低地の水場遺構を中心とした集落遺跡である国指定史跡「北黄金貝塚」の発掘品の公開及び保管。

展示概要

- ・北黄金貝塚から発掘された発掘品及び資料の展示（土器、石器、骨角器等）。
- ・噴火湾周辺の他の遺跡の展示物の相互交換展示。
- ・北黄金貝塚の復元施設等の公開（水場の遺構、貝塚、住居等）。

活動概要

- ・発掘品、資料、施設の公開
- ・体験学習の提供（勾玉や黒曜石ナイフづくり、模擬遺跡発掘などの体験学習の提供）

延床面積

・302 m²

全職員数（常勤職員）

・3名（2003年11月現在）

年間運営費

・4,672千円（2003年度）

総資料点数

・3,000点（2003年12月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：①縄文スクスク森づくりの会、②オコンシベの会

活動目的・経緯

<縄文スクスク森づくりの会>

- ・ 国指定史跡北黄金貝塚の整備事業の一環である「縄文の森」づくりをサポートします。縄文人が暮らした森の木々を種や苗木から育てながら、縄文時代の生活や文化について考える機会にもします。失敗を繰り返しながらゆったりとしたペースで息の長い活動をし、30年後、50年後、100年後に「縄文の森」をよみがえらせます。

<オコンシベの会>

- ・ 郷土の宝であり、またかけがえのない文化遺産である史跡北黄金貝塚公園の活用を促進するため、解説ボランティア活動等を通し、広く道内外の人々に愛される公園づくりに寄与することを目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

<全体>

- ・ 135名（2004年12月現在） 男性：61名、女性：74名

<縄文スクスク森づくりの会>

- ・ 83名（2004年12月現在） 男性：32名、女性：51名

<オコンシベの会>

- ・ 52名（2004年12月現在） 男性：29名、女性：23名

ボランティア担当職員（2003年12月現在）

- ・ 部局名称：伊達市教育委員会文化財課文化財係
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

<縄文スクスク森づくりの会>

- ・ 北黄金貝塚「縄文の森」の植樹作業を行います。
- ・ 縄文時代の樹木を種から育てます（種ひろいと植え付け）。
- ・ 下草刈りなど植樹後の維持管理を行います。
- ・ 森づくりに必要な学習会や自然観察会を開催します。
- ・ 森づくりに関する啓発イベントを実施します。

<オコンシベの会>

- ・ 来園者に史跡北黄金貝塚の現地解説を行います。
- ・ 北黄金貝塚情報センターの展示解説を行います。
- ・ 模擬体験発掘など情報センターが行う体験学習をサポートします。
- ・ 伊達市が行う文化財保護活動をサポートします。
- ・ 視察や学習会の開催など自主研修活動を行います。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

<共通>

- ・ 毎年、北黄金貝塚を会場とする「だて噴火湾縄文まつり」の運営に参画している。
- ・ 毎年、他のボランティア団体と共に「伊達市文化財ボランティアフェア」を開催している。
- ・ 年に1回定期的に総会を行う。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://hunkawanjo.at.infoseek.co.jp/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：縄文の森の植樹及び下草刈り（縄文スクスク森づくりの会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 83 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 縄文の森の植樹及び下草刈り、自然観察会。

◇活動日

- ・ 縄文の森の植樹（4 月）
- ・ 縄文の森の下草刈り（6 月、7 月）
- ・ 自然観察会（9 月）

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし

◇運営（シフト 等）

- ・ 世話人 5 人（うち 1 名が世話人代表）を選任して、会の活動を取りまとめている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 総会の他に年に数回、会員の交流の機会をつくっている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 3 月に、他のボランティア団体と共に「伊達市文化財ボランティアフェア」を開催し、活動を紹介して会員を募集している。
- ・ 資格なし、定年制なし、任期未定。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎年 3 月に、他のボランティア団体と共に開催する「伊達市文化財ボランティアフェア」の際に各ボランティア会員向けに講演会を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし

◇評価

- ・ なし

◇課題と展望

- ・ なし

◇その他

- ・ 計画地 15,000 m²のうち 4,000 m²の植樹を完了し、年々拡張中である。

活動個別シート② 活動名：展示解説ガイド及び体験学習サポート（オコンシベの会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 52名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 北黄金貝塚の復元施設及び発掘展示品の解説ガイド。
- ・ 体験学習（勾玉や黒曜石ナイフづくり、模擬遺跡発掘など）のサポート。

◇活動日

- ・ 4月から11月までの開館期間中毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ 決めていない。団体受入の際には個別に依頼する。
- ・ 世話人7人（うち1名が世話人代表）を選任して、会の活動を取りまとめている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 総会の他に年に数回、会員の交流の機会をつくっている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年3月に、他のボランティア団体と共に「伊達市文化財ボランティアフェア」を開催し、活動を紹介して会員を募集している。
- ・ 資格なし、定年制なし、任期未定

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎年4月に学習会を行っている。
- ・ 毎年3月に、他のボランティア団体と共に開催する「伊達市文化財ボランティアフェア」の際に各ボランティア会員向けに講演会を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通傷害保険に加入している。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 修学旅行シーズンに来園者が集中し、協力いただく会員の人数の確保が難しい。
- ・ 参加メンバーが固定化してきているので、足の遠のいた会員に再び参加を求めたい。

◇その他

- ・ 体験学習のサポートもボランティアガイドについても、来園者にたいへん好評である。

.....
館園名 : 砂川市郷土資料室

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1981年12月 日

所在地

・〒073-0168 北海道砂川市西8条北3丁目 公民館内

公式サイト

http://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/web/PD_Cont.nfs/1067cf52263e4be949256af40058e6a8/64d49cef850148be49256e92000f6251/?OpenDocument

設立主体

・砂川市

運営主体

・砂川市教育委員会

設立目的

・砂川の風土や開拓の歴史、産業、人々の生活などを紹介する施設として昭和56年12月に開館。

展示概要

・生活、産業、考古、生物、美術資料等を7つのテーマ毎に展示。他、石狩川を中心に発達した主産業のジオラマ、砂川を目で見る三面マルチビジョン等を設置している。また、収蔵資料を検索・閲覧が可能なパソコンを設置している。

活動概要

・年数回特別展を開催。他、体験学習やマイミュージアムを実施。

延床面積

・738 m²

全職員数（常勤職員）

・0名（2004年4月現在） ※非常勤職員1名

年間運営費

・2,359,000円（2003年度）

総資料点数

・17,548点（2004年4月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：砂川市郷土資料室ボランティア

活動目的・経緯

- ・平成9年11月、地域に住む意欲のある人材の生涯学習活動の他、郷土資料室事業の側面的協力等を目的に設置。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 5名（2004年12月現在）
- ・ 男性：5名、女性：0名
- ・ 平均年齢68歳：男性68歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：なし
- ・ 担当人数：常勤職員0名・その他（非常勤）1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①常設展示の解説・監視。
- ・ ②収蔵資料の整理。
- ・ ③特別展の側面的な協力。
- ・ ④情報の提供と収集。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

.....

館園名 : 仙台藩白老元陣屋資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1984 年 10 月 12 日

所在地

・ 〒059-0912 北海道白老町陣屋町 681 番地

公式サイト

・ <http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp>

設立主体

・ 白老町

運営主体

・ 白老町教育委員会

設立目的

・ 貴重な文化財である元陣屋跡の歴史的意義を広く世に紹介するため。

展示概要

・ 当時の元陣屋を再現したジオラマや絵図、蝦夷地の地図、武具など約 400 点の歴史的資料を展示。

活動概要

・ 塩釜神社跡参道、御門跡、藩士墓地など。
・ 野草観察会などの開催。

延床面積

・ 696 m²

全職員数（常勤職員）

・ 3 名（ 2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 7,919,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 400 点（ 2004 年 12 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：仙台藩白老元陣屋資料館友の会

活動目的・経緯

・資料館と史跡の説明をお行うため、ボランティア解説団体として、町退職校長会の肝いりで組織された。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 8 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 4 名、女性： 4 名
- ・ 平均年齢 66 歳：男性 72 歳、女性 59 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（嘱託・臨時） 2 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示及び史跡の解説。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 博物館活動全般に対する協力。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www4.ocn.ne.jp/~jinyaato>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：展示及び史跡の解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1984 年

◇活動人数

- ・ 8 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 展示及び史跡の解説。

◇活動日

- ・ 四月上旬～十一月上旬の土・日・祝日及び団体等予約時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算 159,000 円。腕章、名札、制服あり。ボランティア室なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 基本的には順番制。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 近日中にHPに掲載の予定。+ 仙台陣屋かわら版。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 行いたい人であればどなたでも可。随時。好きで楽しく仲良くやってくれる人。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年間 5～6 回。講師は各会員、または学芸員。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 年間 150,000 円から 142,000 円を補助。

◇評価

- ・ 内外より高い評価を得ている。

◇課題と展望

- ・ 高齢化、新規会員の拡大。

◇その他

- ・

館園名 : 伊達市開拓記念館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・1958年03月03日

所在地

- ・〒052-0022 北海道伊達市梅本町6-1-2

公式サイト

- ・<http://www.city.date.hokkaido.jp/>

設立主体

- ・伊達市

運営主体

- ・伊達市教育委員会

設立目的

- ・伊達市を開拓した仙台伊達家一門互理伊達家に伝わる武家文化財及び伊達市開拓に関する資料や文化財の公開及び保管。

展示概要

- ・互理伊達家に伝わる武家文化財等の展示（甲冑、刀剣、お雛様、書状、オルゴール等）。
- ・伊達市開拓に関する資料の展示（支配書等）。
- ・伊達市開拓に関する建造物の公開（旧三戸部家住宅、迎賓館等）

活動概要

- ・資料及び施設の公開

延床面積

- ・368 m²（開拓記念館）

全職員数（常勤職員）

- ・3名（2003年11月現在）

年間運営費

- ・2,481千円（2003年度）

総資料点数

- ・7,700点（2003年12月現在）

施設その他

- ・2004年3月より、重要文化財「有珠モシリ発掘品」を公開することから、館内の改装を予定している。

2. ボランティア活動 名称：①くわの会、②だて記念館びおと一ぷクラブ

活動目的・経緯

<くわの会>

- ・ 来館者、わけても市民の足が遠のきつつある伊達市開拓記念館の活性化を目指して、伊達市は「開拓記念館リバイバルプラン」を打ち出しました。その目玉プランの一つが、このボランティア組織の設立でした。開拓記念館本館以外の文化財は、旧三戸部家住宅や迎賓館など国指定や市指定の重要な文化財がたくさんあるにもかかわらず、これまで解説員がいないため、あまり注目されることがありませんでした。そうした貴重な文化財を市民の皆さんにもっと良く知ってもらうため、また道内外からの観光客の皆さんにPRするために活動します。

<だて記念館びおと一ぷクラブ>

- ・ 開拓記念館の活性化を図るための組織です。庭園内には、約 80 種類の樹木があって小さな森を形づくっています。市の史跡でもあるこの庭園の森を大切にしながら、桜の時季以外にも野草・樹木の花や実、野鳥、エゾリストンボなどの昆虫を楽しめる、より多様で豊かな環境をつくることを目指して活動します。こうした活動が開拓記念館の活性化につながることを期待します。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

<全体会>	92 名（2003 年 12 月現在）	男性：42 名、女性：50 名
<くわの会>	40 名（2003 年 12 月現在）	男性：19 名、女性：21 名
<びおと一ぷクラブ>	52 名（2003 年 12 月現在）	男性：23 名、女性：29 名

ボランティア担当職員（2003 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：伊達市教育委員会文化財課文化財係
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 1 名

活動の種類

<くわの会>

- ・ 来園者に史跡伊達市開拓記念館公園と公園内の様々な文化財について現地解説を行います。
- ・ 民俗資料の整理作業を支援します。
- ・ 開拓記念館や民具資料館の展示作業を支援します。
- ・ 開拓記念館の庭園の整備作業を支援します。
- ・ 記念館庭園や迎賓館を活用したイベントを企画・運営します。
- ・ 視察や学習会の開催など自主研修活動を行います。

<だて記念館びおと一ぷクラブ>

- ・ 野草園づくりを行います。ほかの地域の自然を大切にするため、できる限り種から育てます。低木類も育てます。土作りや草取りも行ないます。
- ・ 池を中心に「ビオトープ」づくりを行います。ビオトープとは、動植物が生息する空間、生息可能な空間を創造、復元することをいいます。
- ・ 学習会の開催など自主研修活動を行います。

活動その他

<共通>

- ・ 毎年、他のボランティア団体と共に「伊達市文化財ボランティアフェア」を開催している。
- ・ 年に 1 回定期的に総会を行う。

関連する出版物

・

関連するHP

・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：施設解説ガイド（くわの会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 40 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 迎賓館の解説ガイド。

◇活動日

- ・ 4 月から 10 月までの毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ 世話人 5 人（うち 1 名が世話人代表）を選任して、会の活動を取りまとめている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 総会の他に年に数回、会員の交流の機会をつくっている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 3 月に、他のボランティア団体と共に「伊達市文化財ボランティアフェア」を開催し、活動を紹介して会員を募集している。
- ・ 資格なし、定年制なし、任期末定

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎年 3 月に、他のボランティア団体と共に開催する「伊達市文化財ボランティアフェア」の際に各ボランティア会員向けに講演会を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

- ・ ボランティアガイドについては来館者にたいへん好評である。

◇課題と展望

- ・ 開拓記念館にて体験学習の受け入れを予定しているので、新たな会員の募集を呼びかけたい。
- ・ 参加メンバーが固定化してきているので、足の遠のいた会員に再び参加を求めたい。

◇その他

・

活動個別シート② 活動名：ビオトープづくり（だて記念館びおとーぷクラブ）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 52名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 種まき、土づくり、草取り、名札付け、解説板の設置。

◇活動日

- ・ 時期未定。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 世話人8人（うち1名が世話人代表）を選任して、会の活動を取りまとめている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 総会の他に年に数回、会員の交流の機会をつくっている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年3月に、他のボランティア団体と共に「伊達市文化財ボランティアフェア」を開催し、活動を紹介して会員を募集している。
- ・ 資格なし、定年制なし、任期未定。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎年3月に、他のボランティア団体と共に開催する「伊達市文化財ボランティアフェア」の際に各ボランティア会員向けに講演会を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 函館市文学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1993年04月01日

所在地

- ・ 〒040-0053 北海道函館市末広町22番5号

公式サイト

- ・ <http://>

設立主体

- ・ 函館市

運営主体

- ・ 財団法人函館市文化・スポーツ復興財団

設立目的

- ・ 函館ゆかりの作家達の業績と風土に根ざした土着の文学空間を視野に入れ、函館が育んだ多くの文学者と文学作品を永く後世に顕彰し、語り継いでいくことを目的に設立。

展示概要

- ・ 1階展示室「函館ゆかりの作家たち」コーナー 16人の直筆原稿、愛用品、著作等を展示。
- ・ 2階展示室「漂泊の詩人石川啄木」コーナー 石川啄木単独のコーナーで直筆原稿、書簡、レプリカ、カラーコピー、著作、研究所、かるた、児童書等を展示。

活動概要

- ・ 基本的に年1回函館ゆかりの作家をテーマに企画展を開催。
- ・ 石川啄木講座、文学の夕べ、自由研究「啄木かるた大会」・「クイズ石川啄木と函館」・「さし絵に挑戦!」、文学館講演会、文学紀行などを実施。

延床面積

- ・ 1,153.68㎡

全職員数（常勤職員）

- ・ 6名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 50,117,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 5,170点（2004年03月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：つくしの会

活動目的・経緯

- ・ 平成 10 年 4 月設立。
財団法人函館市文化・スポーツ振興財団の行う活動に協力し、函館の文化の向上に寄与することを目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 2 名（2005 年 01 月現在）
- ・ 男性：1 名、女性：1 名
- ・ 平均年齢 66.5 歳：男性 63 歳、女性 70 歳

ボランティア担当職員（2005 年 01 月現在）

- ・ 部局名称：函館市文学館
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示の解説・説明。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 2 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 展示解説

◇活動日

- ・ 休館を除く毎日 1 人。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動費として年間 720,000 円を計上している。

◇運営（シフト 等）

- ・ 2 名でシフトを組み毎日 1 人が活動。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 1 回、交流会を兼ねて各地の文化施設を見学。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（費用は館が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 富良野市博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2002 年 09 月 01 日

所在地

・ 〒 079-1582 北海道富良野市山部東 21 線 12 番地

公式サイト

・ <http://www.city.frurano.hokkaido.jp/museum/>

設立主体

・ 富良野市教育委員会

運営主体

・ 富良野市教育委員会

設立目的

・ 地域の自然、人、歴史、文化の概要をまとめた展示施設として開設された。

展示概要

・ 富良野市の自然や民俗、文化に関する資料を収蔵。8つの展示コーナーにわけて展示。

活動概要

・ 上記の展示のほか、特別展や企画展を開催。また、体験学習室、講座、講演会、見学会の開催。文化財の調査なども行う。

延床面積

・ 973.02 m²

全職員数（常勤職員）

・ 3 名（ 2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 10,000,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 14,977 点（ 2004 年 12 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：富良野市生涯学習センター ボランティア友の会

活動目的・経緯

- ・市民の学習ニーズに対応すること。
- ・利用者のサービスを充実すること。
- ・利用者・参加者とのコミュニケーションをはかり、センターを活性化すること。
- ・ボランティア自身の自己向上のため。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 29 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 9 名、女性： 20 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 0 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 森の教室部門。
- ・ 体験学習部門。
- ・ 博物館部門。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ ボランティア友の会通信

関連するHP

- ・ [http:// www.city.furano.hokkaido.jp/museum/info/info4/](http://www.city.furano.hokkaido.jp/museum/info/info4/) ボランティア友の会通信 vol.1.htm

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：森の教室部門

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 29 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 自然観察ガイドや、その補助。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 学習プログラムの収入を予算としている。ボランティア室等はなし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 不定期。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 情報誌でお知らせ。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年度末に募集。年度はじめに説明会開催。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 各部門別に研修会。研修旅行を開催。年に一回から二回程度。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費を支給。講師となる場合は別途支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動がはじまったばかりで、活発な活動はまだ行われていない。新年度からボランティア活動に重点をおく予定。

◇その他

- ・

活動個別シート② 活動名：体験学習部門

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 29 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 自然コース、歴史コース、ものづくり、食文化などの部門に分かれ、体験教室を補助。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 学習プログラムの収入を予算としている。ボランティア室等はなし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 不定期。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 情報誌でお知らせ。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年度末に募集。年度はじめに説明会開催。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 各部門別に研修会。研修旅行を開催。年に一回から二回程度。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動がはじまったばかりで、活発な活動はまだ行われていない。新年度からボランティア活動に重点をおく予定。

◇その他

- ・

活動個別シート③ 活動名：博物館部門

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 29 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 博物館ガイドや、資料の収集、整理、補助。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 学習プログラムの収入を予算としている。ボランティア室等はなし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 不定期。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 情報誌でお知らせ。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年度末に募集。年度はじめに説明会開催。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 各部門別に研修会。研修旅行を開催。年に一回から二回程度。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動がはじまったばかりで、活発な活動はまだ行われていない。新年度からボランティア活動に重点をおく予定。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 北海道開拓の村

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1983年04月01日

所在地

- ・ 〒004-0006 北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1

公式サイト

- ・ <http://www.kaitaku.or.jp>

設立主体

- ・ 北海道

運営主体

- ・ 財団法人北海道開拓の村

設立目的

- ・ 北海道 100 年記念事業の一つとして、道立自然公園野幌森林公園の中に設置された野外博物館。明治・大正期に建築された北海道内の建築物を移設・復元して保存し、訪れる人々に開拓当時の生活を、体験的に理解してもらうことを目的とする。

展示概要

- ・ 60 棟の建造物が、市街地、農村、漁村、山村の各群に分けて配置され、それぞれの時代的背景を生かした内部展示を行っている。
- ・ 市街地群 : 官公庁、旅館、新聞社、交番などが明治期の町並みを再現している。
- ・ 農村群 : 畑作農家、水田農家、養蚕農家などが復元され、畑地では農作業が行われる。
- ・ 漁村群 : 北海道の漁業を代表する鯨漁家の生活を再現している。
- ・ 山村群 : 造材飯場、明治期に盛んであった炭焼きなどの暮らしが再現されている。

活動概要

- ・ 開拓当時の生産活動や伝統芸能、年中行事の再現などを年間活動の中に取り入れている。
- ・ 企画展示、講演会、体験学習、写真コンテスト、写生会、作品展示会を開催している。
- ・ ミュージアムショップでは、ガイドブック、案内ビデオ、絵葉書などを販売している。

延床面積

- ・ 54.2ヘクタール（敷地面積）

全職員数

- ・ 25人

年間運営費

- ・ 353,593千円

総資料点数

- ・

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：北海道開拓の村ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 建造物、展示物の解説活動を行い、観覧者との対話を深めることによって、開拓当時の生活文化に対する認識を高めることを目的として、1987年から開始。
- ・ 1994年、「北海道開拓の村ボランティアの会」発足。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 195名（2004年）
- ・ 男性120名、女性75名（2004年）
- ・ 平均年齢63.6歳：男性64.9歳、女性57.3歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：企画普及課 担当人数：常勤3名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①建造物の解説、②村内ガイドツアー、③演示活動、④作品の監視、⑤販売・営業・図録等発送、⑥研究活動、⑦研修旅行・体験講座等への企画協力。

活動その他

- ・ 4月下旬から10月下旬まで、全開村日に実施。
- ・ 夏期活動（4～10月）は、毎日。冬期活動（11～3月）は、土・日・祝日が中心。
- ・ 日常のボランティア活動は、財団が運営。
- ・ 交流会、自己研鑽を目的とした研修会は、ボランティアの会が運営。
- ・ 1人が活動する日数は、ほぼ2週間に1日程度。
- ・ 1日あたり約16名が活動。
- ・ 毎朝ミーティングを実施。
- ・ 各曜日の代表世話人が集って、運営委員会を開催（活動期間中、毎月1回）。
- ・ 「ボランティアの会会報」を発行（年4回）。
- ・ 定員に応じて毎年1月下旬、一般公募を行うとともに、継続活動希望者に案内を送る。
- ・ 事前調査票を配布し、運営方針に賛同を得た上で受け付け、事前研修受講者のみ登録。
- ・ 定年制・任期制無し。
- ・ 北海道開拓記念館や北海道開拓の村の学芸員による年度初めの講義（3～4月）、現地指導などの研修会、外部の関連施設の現地学習を実施。
- ・ 会員相互の研鑽と親睦を図ることを目的として、ボランティアの会が自主的にブロック別交流、テーマ別研修会を実施。
- ・ 交通費（実費）、昼食費（一部定額）、傷害保険加入料弁償。
- ・ 展示解説・案内は、観覧者から高く評価されている。
- ・ 成熟期に達したボランティアの方に対しては、段階別の研修体制を考える必要がある。
- ・ 発足当初は解説希望が圧倒的に多かったが、ボランティア活動の体験や学習活動を重ねるうちに、実技の提供を加えた動的な活動への展開へと意識が変化しつつある。1994年度には、それらの活動を大幅に導入し、当時の生活文化の立体的再現を図ることが計画されている。
- ・ 2003年度から、ボランティア懇談会を実施し、入村者増加への取り組み、児童生徒への学習支援のあり方という2つのテーマについて検討している。
- ・ 開かれた博物館づくりに対するボランティアの関わり方、職員のボランティアに対する関わり方等について検討している。

- ・ 50代、60代が圧倒的に多く、多様な社会経験を積んだメンバーが多い。
- ・ 数は多くないが、学生の参加が目立つようになってきた。

関連する出版物

- ・ ボランティア 10周年記念誌、ボランティア 15周年記念誌。

関連するHP

- ・ <http://www.kaitaku.or.jp>

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①建造物の解説

◇活動開始年

- ・ 1987 年

◇活動人数

- ・ 195 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 各ボランティアが過去に経験した生活体験を可能な限り生かしながら、市街地群、農村群、漁村群、山村群に分かれて配置につき、各建造物を専門的に担当して解説を行う。
- ・ 希望者に対しては、英語による解説を行う (1 週間前までに申し込み)。

◇活動日

- ・ 4 月下旬～10 月中旬の開村期間、毎日活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ユニフォーム (半てん) の支給。
- ・ ボランティア控え室 (2 ヶ所) あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 曜日ごとに構成されたグループで活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修のほか、毎月 2 回程度案内研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費 (実費)、昼食費 (一部定額)、傷害保険加入料弁償

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②村内ガイドツアー

◇活動開始年

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 195 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 建造物、および北海道の歴史・自然などを解説しながら、村内を案内。事前予約も可能。所要時間は、最大 90 分。1 グループの人数は、10 名程度。

◇活動日

- ・ 開村期間中、毎日実施。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ユニフォーム（半てん）の支給。
- ・ ボランティア控え室（2ヶ所）あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 曜日ごとに構成されたグループで活動。
- ・ ボランティア活動歴 2 年以上の者が対象。
- ・ 外国語が堪能なボランティアを優先的に配置。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費（実費）、昼食費（一部定額）、傷害保険加入料弁償

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート ③ 演示活動

◇活動開始年

- ・ 1988 年

◇活動人数

- ・ 58 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ (1) 昔の巡査、手フット印刷、昔の駄菓子販売、染小物販売、(2) むしろ編み、(3) 俵づくり、(4) ぞうりづくり、(5) 魚網のつくろい、(6) わらじづくりなど、昔の情景再現を、実演と解説で行う。

※昔の駄菓子販売、染小物販売は、解説活動の一部に含む。

◇活動日

- ・ (1) 毎日活動、(2) 火曜日、(3) 水曜日、(4) 木曜日、(5) 金曜日、(6) 土曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 作業着、各種材料。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 曜日ごとに構成されたグループ内で活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費 (実費)、昼食費 (一部定額)、傷害保険加入料弁償

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 北海道大学総合博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1999年04月01日

所在地

- ・ 〒060-0810 北海道札幌市北区北10条西8丁目

公式サイト

- ・ <http://www.museum.hokudai.ac.jp>

設立主体

- ・ 北海道大学

運営主体

- ・ 北海道大学

設立目的

- ・ 学術標本の収蔵、展示、公開等及び学術標本に関する教育研究の支援並びにこれらに関する研究を行うとともに、さらにこれらを一般に公開すること等により地域社会への教育普及に寄与する。

展示概要

- ・ 北大創立以来の歴史とその精神を紹介した「北大歴史展示」、北大の研究内容を紹介した「学術テーマ展示」大型恐竜化石「ニッポノサウルス」、大型哺乳類化石「デスモスティルス」など、北大が所属する地球惑星科学分野の学術標本、資料（化石、鉱物、岩石等）を展示している「学術資料展示」を常設展示としている。

活動概要

- ・ 年5～6回企画展示を開催。
- ・ 毎月第2土曜日は一般市民を対象としたセミナーを実施。
- ・ 紀要、博物館ニュースなどを発行。

延床面積

- ・ 5,915㎡

全職員数（常勤職員）

- ・ 7名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 21,735,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 639,927点（2004年12月現在）

施設その他

- ・ なし

2. ボランティア活動 名称：北海道大学総合博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ H13 年より受入開始
H14 年末 約 80 名
H16 年…約 100 名

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 約 100 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳
ただし、名簿管理がされていないため、実数不明。実活動人数は 50 名ほど

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：総合博物館
- ・ 担当人数：常勤職員 5 名・その他（ ） 名
（総括 1 名、他 4 名）

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説員ボランティア。
- ・ リーフレット翻訳ボランティア。
- ・ 植物資料に関する収蔵管理と標本作製。
- ・ 昆虫標本作製と整理作業。
- ・ 考古学資料の整理・記録・データ化・報告書作成。
- ・ 北大キャンパス内の植物リスト作製—エコキャンパス基礎調査—
- ・ 地学標本（岩石／鉱物／鉱石）の分類整理とデータベース作成。
- ・ 化石標本の整理作業。
- ・ 中谷宇吉郎ボランティア。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 各班のコミュニケーションをとるため「ボランティアの会」が発足（H15.2.21）している。
- ・ メーリングリストを作成している。

関連する出版物

- ・ ボランティア展示解説ガイド 2003 年版

関連するHP

- ・ <http://www.museum.hokudai.ac.jp/activity/volunteer>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：①リーフレット翻訳

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 0 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 外国人留学生にリーフレット等、博物館出版の印刷物を母国語に翻訳してもらうもの。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②植物標本ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 15 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 植物標本の貼付作業。
- ・ 植物標本ラベルの作成、DB 入力。

◇活動日

- ・ 月・火、祝日を中心に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 標本整理のための備品・消耗品はこちらで用意。標本室の一面に作業室がある。ボランティア活動室としては特に予算出していない。

◇運営（シフト 等）

- ・ 3つのグループがあり、それぞれが独自に活動している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 3つのグループがあり、それぞれが独自に活動している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 教員が顔見知りの市民に依頼。特に広報での募集はしていない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特にない。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 特にない。

◇評価

- ・ 特にない。

◇課題と展望

- ・ 長期いるとやる方も負担かもしれない。年月を区切った方がよいかもしれない。

◇その他

- ・ 学生の場合は定着が悪いので、市民に頼らざるをえない。

活動個別シート 活動名：③昆虫標本整理・作製

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 7名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 昆虫標本整理・作製。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 土曜市民セミナー。
パラタクソノミスト養成講座。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：④考古資料館ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000年

◇活動人数

- ・ 5名（2004年12月現在） ①男3 ②女2[合わせた平均39]
①は平均38.3 ②は平均41

◇活動内容

- ・ 展示解説、展示製作、標本整理。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（①予算、②備品、③ボランティア室 等）

- ・ ①は教員ポケット・マネー、③は博物館全体で1室。

◇運営（シフト 等）

- ・ 考古学班として活動。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 不定期に打合せ会議。コンパ。

◇募集（①広報、②選考、③時期、④人数、⑤任期 等）

- ・ ①は館として。④は特になし。⑤はなし。

◇研修（①種類、②内容、③講師 等）

- ・ ①は館として考古学班として見学会など。③は教員。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 一切なし。

◇評価

- ・ 仕事に興味をもち、深めようとする人たちが現れ、博物館としても助かる。

◇課題と展望

- ・ もっと多くの人々に参加してもらい、各々の特性に応じた仕事を進めてもらいたい。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：⑤鉱物ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 7 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 標本整理とデータベース作成。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 必要消耗品、備品類は適室支給。

◇運営（シフト 等）

- ・ 特になし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティアの会（親組織）を通して或いは直接情報交換。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 必要に応じて募集。通常は年度始めに HP を通して若干名募集、任期は特に設けていない。直接面接して採否決定。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 簡単な講習（分類・整理作業等）、担当者あるいは先輩ボランティアが担当。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 特になし。

◇評価

- ・ 膨大な標本量があり、まだ成果が目に見えないが着実に動き始めている。

◇課題と展望

- ・ 学生・市民ボランティアのため、不定期かつ継続性が悪いので改善していく必要がある。

◇その他

- ・ 分類作業の基礎教育の必要性がある。

活動個別シート 活動名：⑥中谷宇吉郎ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 1 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 中谷宇吉郎関係の資料整理・データベース作成。

◇活動日

- ・ 原則として毎週土曜日（ただし、市民ボランティアのため、仕事その他で不定期になることもある）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 消耗品支援、備品の使用。

◇運営（シフト 等）

- ・ 特になし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 他の関係組織、人脈と積極的に交流を実施している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 特に行っていない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 特になし。

◇評価

- ・ 積極的かつ就身的なボランティア活動が行われており、カタログ出版、他関係博物館施設等との交流の世話役としても大いに貢献している。

◇課題と展望

- ・ 関係資料が次第に増加中で、スペースの確保、関連セミナー等の実施が強く期待されている。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 北海道立帯広美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1991年09月22日

所在地

- ・ 〒080-0846 北海道帯広市緑ヶ丘2

公式サイト

- ・ <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.jp/hk-obimu/>

設立主体

- ・ 北海道

運営主体

- ・ 北海道

設立目的

- ・ 道立では5番目の美術館として、国内外のすぐれた美術を幅広く紹介するほか、さまざまな普及活動を行い、地域における生涯学習の場として活動を展開する。

展示概要

- ・ 能勢眞美、神田日勝ら道東ゆかりの代表的な作家の作品、風景画・風俗画をはじめとした西洋の美術、国内外のポスターといった版画を中心とする近現代のプリントアートなどを収蔵。
- ・ 常設展示室において所蔵品をテーマ別に紹介する。

活動概要

- ・ 国内外のすぐれた作品や北海道東部地域ゆかりの美術、プリントアートに焦点をあてた特別展などを開催している。
- ・ 美術講演会、特別展セミナー、美術講座、土曜映写会（美術に関する映画やビデオを上映する）、ミュージアム・カレッジ（鑑賞・講義・ワークショップなど多彩なカリキュラムで、ひとつのテーマを掘り下げる）、ミュージアム・ミステリー（小学校の中高学年の児童を対象に、美術鑑賞のための様々な体験プログラムを実施する）、キッズ・ミュージアム（就学前後の幼児・児童を対象に、工作遊びを主体とした託児室を開設し、保護者に鑑賞の機会を提供する）、移動美術館などを実施。

延床面積

- ・ 3,522 m²

全職員数

- ・ 16人（館長、副館長、管理課3名、学芸課3名、主事（非常勤）7名、臨時職員1名）
（2005年5月現在）

年間運営費

- ・ 161,498千円（2004年度）

総資料点数

- ・ 650点（2005年4月1日現在）

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：北海道立帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

活動目的・経緯

- ・ 美術館の事業活動をボランティア精神に基づいて協力し、援助するとともに、美術に関する知識と教養の向上を図ることを目的に、開館と同時に結成。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 257名（2005年）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①ミュージアム・ショップ部、②ティー・ラウンジ部、③ライブラリー部、④ギャラリー部、⑤ワークショップ部、⑥広報活動。

活動その他

- ・ 販売活動の利益は積み立てて美術館への絵画寄贈のための資金とし、一部は研修会開催の補助にあてている。
- ・ 運営は会として自主的に行われており、美術館としては直接的に関係していない。
- ・ 会長、副会長、会計などの役員を置く。
- ・ 各部のチーフおよびサブチーフによって総務部会を構成。会の活動や運営の全般について処理するとともに、全ボランティアに対して適切な指示を与えている。
- ・ 販売活動の商品の仕入れや管理は、すべて役員が行う。
- ・ 平均して2週間に1度、ないし月に1度程度従事。
- ・ ボランティアは友の会と同じ位置づけとなっており、誰でも会員になることができる。
- ・ 研修を義務づける。
- ・ ボランティアは、すべて無償。
- ・ 美術普及を目的として、通年、土・日曜日、祝日に入館の小学生・中学生を対象に観覧料を「しらかばの会」が負担し、展覧会に招待。
- ・ 帯広美術館10周年記念の事業の一環として美術館前園路の花壇を整備したが、引き続き継続している。

関連する出版物

- ・ 会報「しらかば」の発行（年3回）

関連するHP

- ・ 帯広美術館ホームページに記載。

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 北海道美術館ボランティア交流会への参加

活動個別シート ①ミュージアム・ショップ部会

◇活動開始年

- ・ 1991年

◇活動人数

- ・ 62名(2005年)

◇活動内容

- ・ 売店の運営。展覧会図録、絵葉書、美術書等の美術関連物品の販売活動を通して、来館者に美術情報とサービスを提供している。

◇活動日

- ・ 開館日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営(シフト 等)

- ・ 展覧会の会期ごとにショップ会議を開き検討する。部会は年2回、交流会を兼ねて実施している。
- ・ ショップ活動を円滑にするため、チーフ、サブチーフ(庶務・会計・在庫)、曜日リーダー、サブリーダー(役員の任期は2年、曜日のリーダー、サブリーダーは1年で、交替制)を置いている。

◇交流(情報、組織 等)

・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 接客研修、ラッピング講習等を行う。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート ②ティー・ラウンジ部会

◇活動開始年

- ・ 1991年

◇活動人数

- ・ 69名(2005年)

◇活動内容

- ・ 喫茶室でコーヒー、ジュース等を提供。

◇活動日

- ・ 開館日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営(シフト 等)

- ・ チーフ(1名)、サブチーフ(1名)、会計(1名)、曜日リーダー、食品衛生責任者(1名)部員が交替で役員を務める。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 部員間の親睦を図るため年1回交流会を行う。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ コーヒー及びメニュー講習を実施。
- ・ 年1回専門家を招いて実技講習をする。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③ライブラリー部会

◇活動開始年

- ・ 1991年

◇活動人数

- ・ 46名(2005年)

◇活動内容

- ・ 新聞や図書など美術情報を収集・整理。

◇活動日

- ・ 日・月曜日を除く毎日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営(シフト 等)

- ・ 部内の運営を円滑にするため、チーフ、サブチーフ、図書アドバイザー、図書アシスタント・アドバイザー、新聞アドバイザー、新聞アシスタント・アドバイザー、曜日のリーダーを置いている。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 新聞整理部門学習会(毎月1回)、図書整理部門自主学習会(毎月1回)、新人研修、研修(セミナー等聴講)を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ④ギャラリー部会

◇活動開始年

- ・ 1999年

◇活動人数

- ・ 64名（2005年）

◇活動内容

- ・ 展示室での監視・案内。

◇活動日

- ・ 開館日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 日頃の活動を円滑にするために、チーフ（1名）、サブチーフ（1名）、曜日リーダー（12～13名）を置いている。
- ・ 役員の選出は互選とし、任期は2年とする。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 自主学習会（会期ごと）を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤ワークショップ部会

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 16 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 美術館と共催で、託児室を開設 (キッズ・ミュージアム)。

◇活動日

- ・ キッズ・ミュージアム開催日および準備日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 美術館講堂にて託児室を開設。

◇運営 (シフト 等)

- ・ チーフ、サブチーフを置く。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑥広報活動

◇活動開始年

- ・ 1991 年

◇活動人数

- ・ 名 (年)

◇活動内容

- ・ 展覧会のポスター、チラシ等を配布する。

◇活動日

- ・ 展覧会などの開催にあわせて、その都度必要に応じて活動する。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 北海道立近代美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1977年07月00日

所在地

- ・ 〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西17

公式サイト

- ・ <http://www.aurora-net.or.jp/art/dokinbi/>

設立主体

- ・ 北海道

運営主体

- ・ 北海道

設立目的

- ・ 近代美術に関する作品その他の資料を収集、保管、展示して、教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事項を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすること。

展示概要

- ・ 明治以降の北海道関係の作品、日本の近現代の作品、海外の近現代の作品に重点を置いて収集。
- ・ 主なコレクションには、ジュール・パスキンを中心としたエコール・ド・パリの作品、国内外のガラス工芸、北海道の美術、デューラーから現代までのヨーロッパの版画などがある。

活動概要

- ・ 特別展示をはじめ、子どものための「子どもと親の美術館」、「サマー・ミュージアム」（小学生を対象にした事業。アートレッスンやワークショップなど、多彩なプログラムで夏休みを開催）、道内各地での移動美術展、映画会、講演会、各種の講座、展示室講話（学芸員が常設展示室にて、午後2時より30分間行う）、常設展示の解説活動、団体へのオリエンテーションなどを行っている。
- ・ 北海道の美術、エコール・ド・パリ、ガラス工芸などコレクションの調査・研究、美術館の運営と活動についての研究を行う。

延床面積

- ・ 9,143.7 m²

全職員数

- ・ 40名

年間運営費

- ・ 355,744千円（2003年度）

総資料点数

- ・ 3,609点（2004年）

その他

- ・ 質問コーナー、図書コーナー、ビデオライブラリーがある。

2. ボランティア活動 名称：社団法人北海道美術館協力会

活動目的・経緯

- ・ 開館と同時に発足した社団法人北海道美術館協力会に、道立美術館の事業活動に協力することを目的にボランティア部が設置され、売店活動を開始（15人）。
- ・ 1979年8月、社団法人化。
- ・ その後、開設した「婦人美術講座」の参加者を主体に、1980年に解説部門、1988年に資料部門が発足した。
- ・ 7部門体制となる（1994年）。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 190名（2005年）
- ・ 男性12名、女性178名（2005年）
- ・ 平均年齢58.2歳：男性68.0歳、女性58.0歳（2005年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：事務局長 担当人数：常勤2名・その他（売店常勤）9名

活動の種類

- ・ ①売店部、②解説部、③資料部、④広報部、⑤研修部、⑥特別活動部、⑦事業部。

活動その他

- ・ 各部共有のボランティア室あり（関連資料等が保管されている）。
- ・ すべてのボランティア活動は、社団法人北海道美術館協力会の事業として実施されている。
- ・ 活動は、1人、月3～4回程度。
- ・ 部長、副部長（各部門のチーフ）、理事（その他、協力会組織として3部会から各7名選出）で、運営会議を構成（7部の部長が、オブザーバーとして参加）。総会で決定した年間活動計画にしたがって、部の運営を行っている。
- ・ 『あんでな』を発行。
- ・ 募集は、毎年1回、年度末に行う。
- ・ 参加の条件は、年齢制限なしで、①ルールを守り、組織の一員として責任のある仕事ができること、②活動のための一切の経費を自己負担できること、③札幌市内および近郊に居住し、ボランティア活動に喜びをもって時間を使えることなど。
- ・ 定年制はない。
- ・ 任期は2年、更新あり。
- ・ ボランティア活動に加わるためには、協力会が主催する美術講座を8割以上受講したうえで、希望する活動部門別の研修講座に8割以上出席しなければならない。
- ・ 館が、特別展に関わる特別オリエンテーションを実施。
- ・ 協力会が、それぞれの部内での研修を行う。
- ・ 協力会が、美術研修旅行を実施。
- ・ ボランティア賠償責任保険、普通傷害保険に加入している。
- ・ ボランティア部としての組織の合理化と活性化を図ることが全般的な問題。
- ・ 現在のところ、ボランティア活動は美術館協力会の組織下にあり、美術館とは直接的な関係がない。活動内容が高度化するにつれて、館側との連携を一層考慮する必要がある。
- ・ 売店部は、協力会の大切な収益事業である。

<同封資料> 「社団法人北海道美術館協力会定款」

「社団法人北海道美術館協力会の概要」

関連する出版物

- ・ 「あんてな」。協力会が発行する「会報」広報部が担当。

関連するHP

- ・ <http://www.artepia.or.jp>

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①売店部

◇活動開始年

- ・ 1977 年

◇活動人数

- ・ 41 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 1 階の売店 (H16 年 9 月に 1 階の 2 カ所に一元化)、特別展開催時の特設売店で、商品を販売する。
- ・ カレンダー・絵葉書などのオリジナル商品の開発を行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 部の年間予算として、82,000 円を計上。
- ・ 各部共有のボランティア室があり、関連資料等が保管されている (同率近代美術館内借用)。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 部会および部内研修・班会議を部員の都合にあわせて実施。
- ・ 7 部合同の全体研修を年 2 回程度実施。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 2 月～3 月にかけて、HP・新聞等により募集要項を掲載し、募集する (研修部が主体となる)。約全体で 200 名程度の応募あり。
- ・ 資格は、協力会主催の美術講座、養成研修を 8 割以上受講修了した者。
- ・ 定年制なし (任期 2 年。更新あり)

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入 (協力会が負担)。
- ・ 交通費、食費 (一部協力会が負担) は基本的に自己負担。
- ・ 会員に限り展覧会の無料観賞の特展あり。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 魅力ある売店としての日常活動の充実。

◇その他

- ・

活動個別シート ②解説部

◇活動開始年

- ・ 1980年

◇活動人数

- ・ 50名(2004年)

◇活動内容

- ・ 団体オリエンテーション(スライドによる館活動や展覧会紹介・15分間程度)を行う。
- ・ 常設展示室1、2階、レファレンス・サービスコーナー、映像室、講堂などでのギャラリーツアー(解説30分)を行う。
- ・ 常設展示室にて、鑑賞ガイドツアーを行う(火～金は1日3回、土・日は1回。各30分)。
- ・ アート・レファレンス・サービスを行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動(休館日を除く)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 部の年間予算として、90,000円を計上。
- ・ 各部共有のボランティア室があり、関連資料等が保管されている(同率近代美術館内借用)。

◇運営(シフト 等)

- ・ 部会および部内研修・班会議を部員の都合にあわせて実施。
- ・ 7部合同の全体研修を年2回程度実施。

◇交流(情報、組織 等)

・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年2月～3月にかけて、HP・新聞等により募集要項を掲載し、募集する(研修部が主体となる)。約全体で200名程度の応募あり。
- ・ 資格は、協力会主催の美術講座、養成研修を8割以上受講修了した者。
- ・ 定年制なし(任期2年。更新あり)

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 学芸員による特別オリエンテーションを実施。
- ・ 模擬ツアー合評会を実施。
- ・ 展示の下見会を実施。
- ・ 班勉強会を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入(協力会が負担)。
- ・ 交通費、食費(一部協力会が負担)は基本的に自己負担。
- ・ 会員に限り展覧会の無料観賞の特展あり。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 部内研修を充実させ、部員の資質向上を図る必要がある。

◇その他

・

活動個別シート ③資料部

◇活動開始年

- ・ 1988 年

◇活動人数

- ・ 46 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 3 階の近代美術館図書資料室において、新聞資料の整理（新聞記事の切り抜きと検索カードの作成）、スライドの資料化、展覧会の案内状の整理を行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 部の年間予算として、86,000 円を計上。
- ・ 各部共有のボランティア筆があり、関連資料等が保管されている（同率近代美術館内借用）。

◇運営（シフト 等）

- ・ 部会および部内研修・班会議を部員の都合にあわせて実施。
- ・ 7 部合同の全体研修を年 2 回程度実施。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 2 月～3 月にかけて、HP・新聞等により募集要項を掲載し、募集する（研修部が主体となる）。約全体で 200 名程度の応募あり。
- ・ 資格は、協力会主催の美術講座、養成研修を 8 割以上受講修了した者。
- ・ 定年制なし（任期 2 年。更新あり）

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入（協会が負担）。
- ・ 交通費、食費（一部協会が負担）は基本的に自己負担。
- ・ 会員に限り展覧会の無料観賞の特展あり。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

- ・ 「ハンドブック改定検討プロジェクト」によって、改訂を重ねてきているハンドブック（2 冊）には、作業の仕方が細かく記されており、誰でも、自主的に仕事を行うことができる。

活動個別シート ④広報部

◇活動開始年

- ・ 1994年

◇活動人数

- ・ 8名(2004年)

◇活動内容

- ・ 展覧会のチラシ・ポスター、会報などを配布する。
- ・ ボランティア向け部内報「あんでな」を発行配布する。
- ・ 各行事の取材。

◇活動日

- ・ 随時活動(月に3~4回)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 部の年間予算として、49,000円を計上(会報「あんでな」等は、協力会事業に計上)。
- ・ 各部共有のボランティア筆があり、関連資料等が保管されている(同率近代美術館内借用)。

◇運営(シフト 等)

- ・ 部会および部内研修・班会議を部員の都合にあわせて実施。
- ・ 7部合同の全体研修を年2回程度実施。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年2月~3月にかけて、HP・新聞等により募集要項を掲載し、募集する(研修部が主体となる)。約全体で200名程度の応募あり。
- ・ 資格は、協力会主催の美術講座、養成研修を8割以上受講修了した者。
- ・ 定年制なし(任期2年。更新あり)

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 市内印刷工場等の視察。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入(協力会が負担)。
- ・ 交通費、食費(一部協力会が負担)は基本的に自己負担。
- ・ 会員に限り展覧会の無料観賞の特展あり。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ ボランティア部員が少なく、活動に支障をきたしている。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤研修部

◇活動開始年

- ・ 1994 年

◇活動人数

- ・ 12 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ボランティア養成も兼ねた一般公開の美術講座を担当する。

◇活動日

- ・ 随時活動 (月に 3~4 回)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 部の年間予算として 53,000 円を計上 (美術講座等の経費は、協力会事業に計上)。
- ・ 各部共有のボランティア筆があり、関連資料等が保管されている (同率近代美術館内借用)。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 部会および部内研修・班会議を部員の都合にあわせて実施。
- ・ 7 部合同の全体研修を年 2 回程度実施。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 2 月~3 月にかけて、HP・新聞等により募集要項を掲載し、募集する (研修部が主体となる)。約全体で 200 名程度の応募あり。
- ・ 資格は、協力会主催の美術講座、養成研修を 8 割以上受講修了した者。
- ・ 定年制なし (任期 2 年。更新あり)

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 学芸員、および協力会理事により、美術講座、養成研修を開催。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入 (協力会が負担)。
- ・ 交通費、食費 (一部協力会が負担) は基本的に自己負担。
- ・ 会員に限り展覧会の無料観賞の特展あり。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑥特別活動部

◇活動開始年

- ・ 1994 年

◇活動人数

- ・ 21 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 公民館・シルバーセンター・病院などにスライドをもって出向き、収蔵作品や展覧会を紹介する。
- ・ 子どもから大人まで、幅広い年齢層の人々に、美術の楽しさを伝えている（美術への誘い、ジュニアアートクラブ、年に 3～4 回）。

◇活動日

- ・ 随時活動（月に 3～4 回）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 部の年間予算として、61,000 円を計上。
- ・ 各部共有のボランティア筆があり、関連資料等が保管されている（同率近代美術館内借用）。

◇運営（シフト 等）

- ・ 部会および部内研修・班会議を部員の都合にあわせて実施。
- ・ 7 部合同の全体研修を年 2 回程度実施。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 2 月～3 月にかけて、HP・新聞等により募集要項を掲載し、募集する（研修部が主体となる）。約全体で 200 名程度の応募あり。
- ・ 資格は、協力会主催の美術講座、養成研修を 8 割以上受講修了した者。
- ・ 定年制なし（任期 2 年。更新あり）

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入（協力会が負担）。
- ・ 交通費、食費（一部協力会が負担）は基本的に自己負担。
- ・ 会員に限り展覧会の無料観賞の特展あり。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑦事業部

◇活動開始年

- ・ 1994年

◇活動人数

- ・ 12名(2004年)

◇活動内容

- ・ 一般の会員、および関係機関に呼びかけ、会員相互の親睦交流を目的とした「つどい」を、年1回開催。
- ・ 近代美術館主催の「ミュージアムスクール」および「アミューズランド」を、7部合同で支援共催。
- ・ 道内外、および海外の美術研修旅行の実施(担当部)。

◇活動日

- ・ 随時活動(月に2~3回)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 部の年間予算として、53,000円を計上。
- ・ 各部共有のボランティア筆があり、関連資料等が保管されている(同率近代美術館内借用)。

◇運営(シフト 等)

- ・ 部会および部内研修・班会議を部員の都合にあわせて実施。
- ・ 7部合同の全体研修を年2回程度実施。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年2月~3月にかけて、HP・新聞等により募集要項を掲載し、募集する(研修部が主体となる)。約全体で200名程度の応募あり。
- ・ 資格は、協力会主催の美術講座、養成研修を8割以上受講修了した者。
- ・ 定年制なし(任期2年。更新あり)

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入(協会が負担)。
- ・ 交通費、食費(一部協会が負担)は基本的に自己負担。
- ・ 会員に限り展覧会の無料観賞の特展あり。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 北海道立函館美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1986年09月23日

所在地

- ・ 〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 37-6

公式サイト

- ・ <http://www.dokyoι.pref.hokkaido.jp/hk-hakmu>

設立主体

- ・ 北海道

運営主体

- ・ 北海道

設立目的

- ・ 函館を中心とした道南地域の各分野にすぐれた美術作品を軸に、地域の特性にそった特色あるコレクションづくりをめざします。

展示概要

- ・ ホールには、ロダンの「衣をまとったバルザック」をはじめ、ブールデル、ルノワールなどの西洋近代彫刻を展示しています。また、鷗亭記念室に東洋美術と書のコレクションを常設展示するほか、常設コーナーには田辺三重松をはじめとする道南ゆかりの作家の作品、および現代美術を展示します。さらに特別展示室では、当館の所蔵品を系統的に紹介する所蔵品展や、他の道立美術館所蔵品および国内外のすぐれた作品による特別展を企画・実施します。

活動概要

- ・ 全ての活動の基礎となる所蔵品および道南の美術に関する調査・研究を積極的に進めるとともに、美術館学も主要な研究テーマのひとつとします。
展示と結びついた美術講演会、講座、映画会をはじめ、オリエンテーション、作品解説を通じて、美術についての理解を深めていただくためのお手伝いをします。

延床面積

- ・ 3,290.46 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 6名（16年12月現在）

年間運営費

- ・ 150,811,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 1,600点（16年03月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：北海道立函館美術館ボランティア いちいの会

活動目的・経緯

- ・ 北海道立函館美術館が行う事業活動をボランティア精神に基づいて、協力・支援するとともに、美術に関する知識と教養の向上を図ることを目的とする。
昭和 61 年の開館以来活動を続けている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 124 名（16 年 12 月現在）
- ・ 男性：2 名、女性：122 名
- ・ 平均年齢 63.6 歳：男性 64.7 歳、女性 63.6 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名
※特定の担当職員なし

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①喫茶部、②売店部、③資料部、④R R 部

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ 会報 年 2 回程度（会員向け）

関連するHP

- ・ <http://> 当館HP内に紹介ページあり。

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 年 1 回程度、道内の美術館ボランティアとの交流会実施。

※ボランティア主催による、解説やワークショップなどは無いため、個別シートは作成しませんが、美術館主催による教育普及事業（イベント等）に係る運営資金の一部を援助していただいています。

.....
館園名 : 北海道立三岸好太郎美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1977 年 06 月 01 日

所在地

・ 〒060 -0002 北海道札幌市中央区北二条西 15 丁目

公式サイト

・ <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.jp/hk-mikumu/>

設立主体

・ 北海道

運営主体

・ 北海道

設立目的

・ 大正から昭和初期の日本近代洋画史に鮮やかな光彩を放った札幌出身の画家、三岸好太郎の画業を顕彰し、作品その他関係資料の収集と保存、展示、および調査、研究、普及活動を行う。

展示概要

・ 三岸好太郎の生涯にわたる代表的作品を展示する所蔵品展、および彼の芸術をさまざまな角度からとらえた特別展を開催。

活動概要

・ 上記展覧会のほか、講演会、展示解説、音楽会などを開催し、より広く深く三岸好太郎の世界に触れ、親しんでもらえるよう、個人作家美術館としての活動の充実に努める。

・ ビデオギャラリーにてビデオの鑑賞。図書コーナーにて図書の閲覧。美術館コンサートの開催など。

延床面積

・ 1247.50 m²

全職員数（常勤職員）

・ 4 名（ 2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 約 100,000,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 251 点（ 2005 年 1 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：北海道美術館協力会

活動目的・経緯

・アルテピア（社団法人北海道美術館協力会）による。北海道民の、美術に関する知識と教養の充実をはかる。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：北海道美術館協会
- ・ 担当人数：常勤職員 3 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 作品解説。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 北海道美術館協力会主催「美術講座」を開催。ボランティアの育成につとめる。

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://www.artepia.or.jp/top.html>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 北海道立近代美術館のボランティアと共通。かけもちのため、人数等は流動的。

活動個別シート① 活動名：所蔵品展展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1983 年

◇活動人数

- ・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・ 所蔵品展展示解説。

◇活動日

- ・ 火曜から金曜。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 北海道美術館協力会による運営。予算、備品、ボランティア室等は別。

◇運営（シフト 等）

- ・ 解説部でローテーションと各日の当番を決める。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡ノート（実施記録）を作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年度当初に新聞（主に地元紙）等により募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（職員による養成講座）、半年間週一回。部門別での研修半年間。その他、自主的に研究会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 協力会による。原則として無償。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 解説部の中で「三岸班」としてメンバーを固定化していたのを数年前に解消。近代美術館とのかけもちのため、負担が多くなっている。

◇その他

- ・

.....
館園名 : 穂別町立博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1982年07月20日

所在地

・〒054-0211 北海道勇払郡穂別町字穂別80-6

公式サイト

・<http://>

設立主体

・穂別町

運営主体

・穂別町教育委員会

設立目的

・本庁で発見された「ホベツアラキリュウ」の化石展示と郷土資料館としての町の歴史の保存・普及を目的として設立。

展示概要

- ・穂別町内から産出した動物化石を中心に地質・化石資料の常設展示。
- ・町の歴史（人文資料）や動物殿自然環境に関する資料などの特別展示。

活動概要

・主に穂別町内で発見される中生化-新生化の化石群の収集・保存活動と標本群の調査・研究・普及・教育活動。

延床面積

・1,426 m²

全職員数（常勤職員）

・7名（2004年12月現在）

年間運営費

・17,011,997円（2003年度）

総資料点数

・5,054点（2003年12月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：穂別町立博物館協力会、千歳化石会

活動目的・経緯

- ・ 穂別町立博物館協力会は、「前 穂別化石研究会」が博物館設立に伴い、博物館に関連する事業に参加協力することを目的に組織された。自然・人文資料の収集や調査、博物館活動の普及協力を行う。
- ・ 千歳化石会は、千歳市と近郊在住の化石愛好者が道内の博物館・郷土資料館の化石採集やクリーニング・標本作りなどに参加協力し、活動している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 26名（2004年12月現在）
- ・ 男性：24名、女性：2名

ボランティア担当職員（2004年4月現在）

- ・ 部局名称：事務局長・高橋博志（協力会）、事務局・高垣純（化石会）
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ① 博物館事業等への参加協力活動（穂別町立博物館協力会）。
- ② 化石採集や標本作り等への参加協力活動（千歳化石会）。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①博物館事業等への参加協力活動（穂別町立博物館協力会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 14名（2004年4月現在）
- ・ 男性：12名、女性：2名

◇活動内容

- ・化石採集1回。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・研修会1回。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②化石採集や標本作り等への参加協力活動（千歳化石会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 12名（2004年12月現在）
- ・ 男性：12名、女性：0名

◇活動内容

- ・地質調査16回。
- ・クリーニング等8回。
- ・化石教室2回。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・研修会等9回。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 本別町歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1982年04月01日

所在地

・〒089-3391 北海道中川郡本別町北2丁目4

公式サイト

・<http://>

設立主体

・本別町

運営主体

・教育委員会

設立目的

・本町の歴史・自然・文化に関する資料を保存公開し、町民の教育、学術文化の向上発展に寄与するため。

展示概要

・本町の開基80年を記念し、ふるさと本別の生い立ちから今日までの歴史資料1,200点を展示。

活動概要

・本町の歴史資料の収集、保存及び展示、等。
・年4回程度特別展示を開催。

延床面積

・753.3㎡

全職員数（常勤職員）

・3名（2005年1月現在）

年間運営費

・4,905,000円（2003年度）

総資料点数

・5,800点（2005年1月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：本別町歴史民俗資料館友の会

活動目的・経緯

- ・資料館を中心として、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学などの知識を深めるとともに、会員相互の親睦をはかり、あわせて資料館活動の普及、文化の発展に寄与することを目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 28名（2005年1月現在）
- ・ 男性：24名、女性：4名
- ・ 平均年齢53歳：男性70歳、女性36歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：資料館担当
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 会報の発行。
- ・ 資料館展示アピール。
- ・ 講演会等開催。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 昭和63年11月に発足。会報は、68号となる。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1988 年

◇活動人数

- ・ 28 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 資料館活動のアピール、及び、常設展示の説明等。

◇活動日

- ・ 特に定めていない。そのつど声をかけ合って、集まり活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし

◇運営（シフト 等）

- ・ なし

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特に定めていない。そのつど集まる。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ なし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 活動やメンバーが固定化、高齢化している。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 三浦綾子記念文学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1998 年 06 月 13 日

所在地

・ 〒070-0023 北海道旭川市神楽7条8丁目2番15号

公式サイト

・ <http://eolas.co.jp/hokkaido/hyoutem/>

設立主体

・ 財団法人三浦綾子記念文化財団

運営主体

・ 財団法人三浦綾子記念文化財団

設立目的

・ 三浦綾子の仕事をたたえ、広く国内外に知らせ、のちの世に伝えていくため。また、市民運動の結実として建てられた国立民営の文学館であることをふまえ、地域社会の発展と密着させて館の活動をくりひろげる。

展示概要

・ 三浦綾子の著作、手書き原稿等など、関係資料の収蔵。常設展示室にて、テーマ別に展示を行う。

活動概要

・ 常設展示のほか、特別企画展の開催。三浦綾子の仕事を紹介したビデオの上映。
・ 文学セミナー、リレー講座、講演会などの開催。賛助会員制度あり。

延床面積

・ 658.976 m²

全職員数（常勤職員）

・ 5 名（2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 33,000,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 20,000 点（2004 年 12 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：おだまき会

活動目的・経緯

・

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 80 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 76 名、女性： 4 名
- ・ 平均年齢 62 歳：男性 70 歳、女性 55 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 事務局
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ 嘱託 ） 1 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ グッズ販売。
- ・ 喫茶。
- ・ 2階受付（ビデオ・CD等）。

・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 80 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ グッズ販売、喫茶、2 階受付。

◇活動日

- ・ 六月一日～九月末日まで毎日。
- ・ 十月一日から三月末日まで、月曜の休館日以外毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ベスト。

◇運営（シフト 等）

- ・ 希望日調整し月一回以上。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 不定期（必要なときのみ）

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年に一度、三浦綾子作品ゆかりの地への研修旅行。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ バス代の支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 高齢化。
- ・ 曜日ごとの交流を促進。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 紋別市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 2002年04月13日

所在地

- ・ 〒094-0005 北海道紋別市幸町3-1-4

公式サイト

- ・ <http://>

設立主体

- ・ 紋別市

運営主体

- ・ 紋別市教育委員会

設立目的

- ・ 市民の教育及び学術文化の振興と地域の活性化に寄与。

展示概要

- ・ オホーツク・紋別の人々の歴史・文化と、紋別の礎をつくったハマ・オカ・ヤマに代表される漁業、生活、農業、林業、鉱山などを、映像、模型、ジオラマ、実物資料やコンピュータ検索システムなどで、わかりやすく展示。

活動概要

- ・ 各種特別展・企画展や、講座等の開催

延床面積

- ・ 2,095 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 5名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 18,736,425円（2003年度）

総資料点数

- ・ 20,994点（2004年3月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：博物館さわやかボランティア

活動目的・経緯

- ・ 新博物館の会館にあわせて、ボランティアを募集。
博物館の運営や事業実施に協力することにより、市民に新たな生きがいを見つけることを目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 47名（2004年12月現在）
- ・ 男性：24名、女性：23名
- ・ 平均年齢61.2歳：男性60.5歳、女性62歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①入館者の誘導案内、展示の説明。
- ・ ②生涯学習スペース利用者への協力。
- ・ ③資料の整理やクリーニング。
- ・ ④館主催展示事業の展示・管理・後片付け。
- ・ ⑤番屋講座の企画実施。
- ・ ⑥各種講座、教室の指導。
- ・ ⑦その他、館内外の環境美化、物販。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 個人登録で組織としては活動しない。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①入館者の誘導、案内、展示の説明

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 11 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 入館者の誘導、案内、展示の説明。

◇活動日

- ・ 博物館開館日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険（ボランティア保険）

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②生涯学習スペース利用者への協力

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 11 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 陶芸教室等の協力、講師の補助。

・

◇活動日

- ・ 陶芸教室等の開催日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート 活動名：③資料の整理やクリーニング

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 25 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 鉄製品のサビ落とし。

◇活動日

- ・ 7/27～30。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：④館主催展示事業の展示、整理、後片づけ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 20 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 特別展（国宝展等）の管理。
- ・ 収蔵資料展等の展示作業補助、整理、後片付けの手伝い。

◇活動日

- ・ 展示開館中。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：⑤番屋講座の企画・実施

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 13名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 毎月1回土曜日に行う番屋講座の企画と実施。

◇活動日

- ・ 毎月1回土曜日午後13:30～15:00。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート 活動名：⑥各種講座・教室の指導

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 5名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 自然講座・歴史講座、陶芸教室の講師、開催補助協力。

◇活動日

- ・ 各講座、教室の開催日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険等）

- ・ 保険。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：⑦その他、館内外の環境美化・物販

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 12名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 花壇の手入れ、ミュージアムグッズの販売

◇活動日

- ・ 5月1回、7月1回、10月1回、販売はずいじ

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 余市水産博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1969年06月00日

所在地

- ・ 〒046-0011 北海道余市郡余市町入舟町 21

公式サイト

・

設立主体

・

運営主体

・

設立目的

- ・ 北海道 100 年記念地域事業として、余市町開発の基礎となった往年のニシン漁業などを通して、先人の息吹や歴史の流れを物語る資料を展示することを目的に建設。

展示概要

- ・ 1 階展示室：ニシン漁に使用された船、弁財船の展示。
- ・ 2 階展示室：水産一般関係資料の展示、ニシン定置網の実際、ニシン漁労写真。
- ・ 3 階展示室：ニシン漁労の生活資料。

活動概要

・

延床面積

・

全職員数

・

年間運営費

・

総資料点数

・

その他

・

2. ボランティア活動 名称：余市町文化財ボランティア説明員

活動目的・経緯

・

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 13名（2004年）
- ・ 男性：12名、女性：1名（2004年）
- ・ 平均年齢67歳：男性 歳、女性 歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①案内・説明。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①余市町文化財施設説明員

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 13 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ フゴッペ洞窟、国指定重要文化財旧下ヨイチ運上家、および史跡旧余市福原漁場などの文化財を案内し、無料で説明する。

◇活動日

- ・ 4/29～11/3 の土日祝日に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 事務局 (博物館) で決定。

◇交流 (情報、組織 等)

・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 3 月に、町内広報で公募。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年度はじめ (4 月) に開催 (他随時)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 1 日、2,500 円

◇評価

- ・ 丁寧なガイドが好評。

◇課題と展望

- ・ 新規説明員の補充・研修が課題。

◇その他

・